

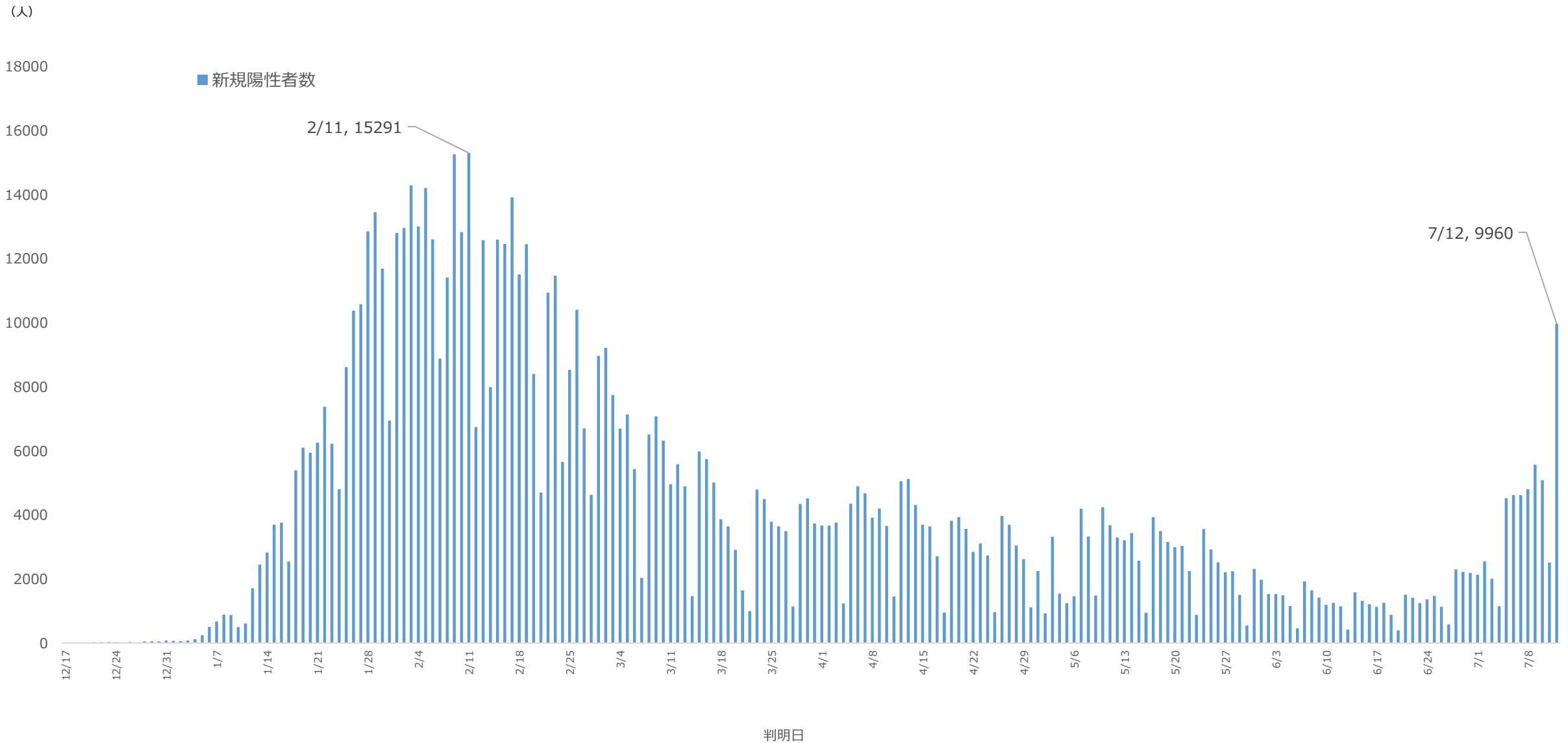
# 現在の感染・療養状況等について

大阪府健康医療部

1	陽性者数等の推移	P3~11
2	年代別・居住地別比較	P12~14
3	感染エピソードやクラスターの発生状況	P15~19
4	ワクチン分析	P20~22
5	入院・療養状況	P23~31
6	重症・死亡例のまとめ	P32~38
7	感染状況を踏まえた対応	P39~46

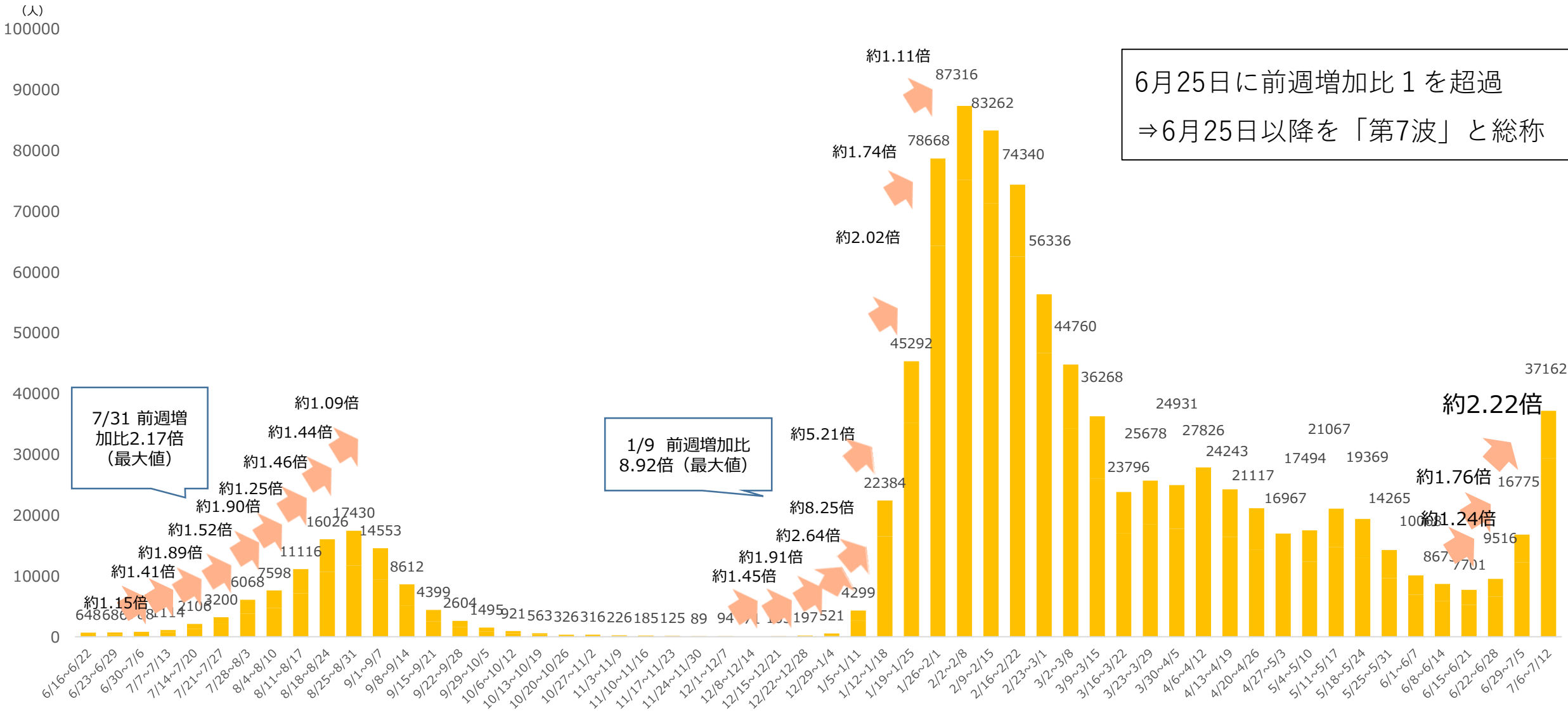
# 1 陽性者数等の推移

# 陽性者数の推移 (7月12日時点)



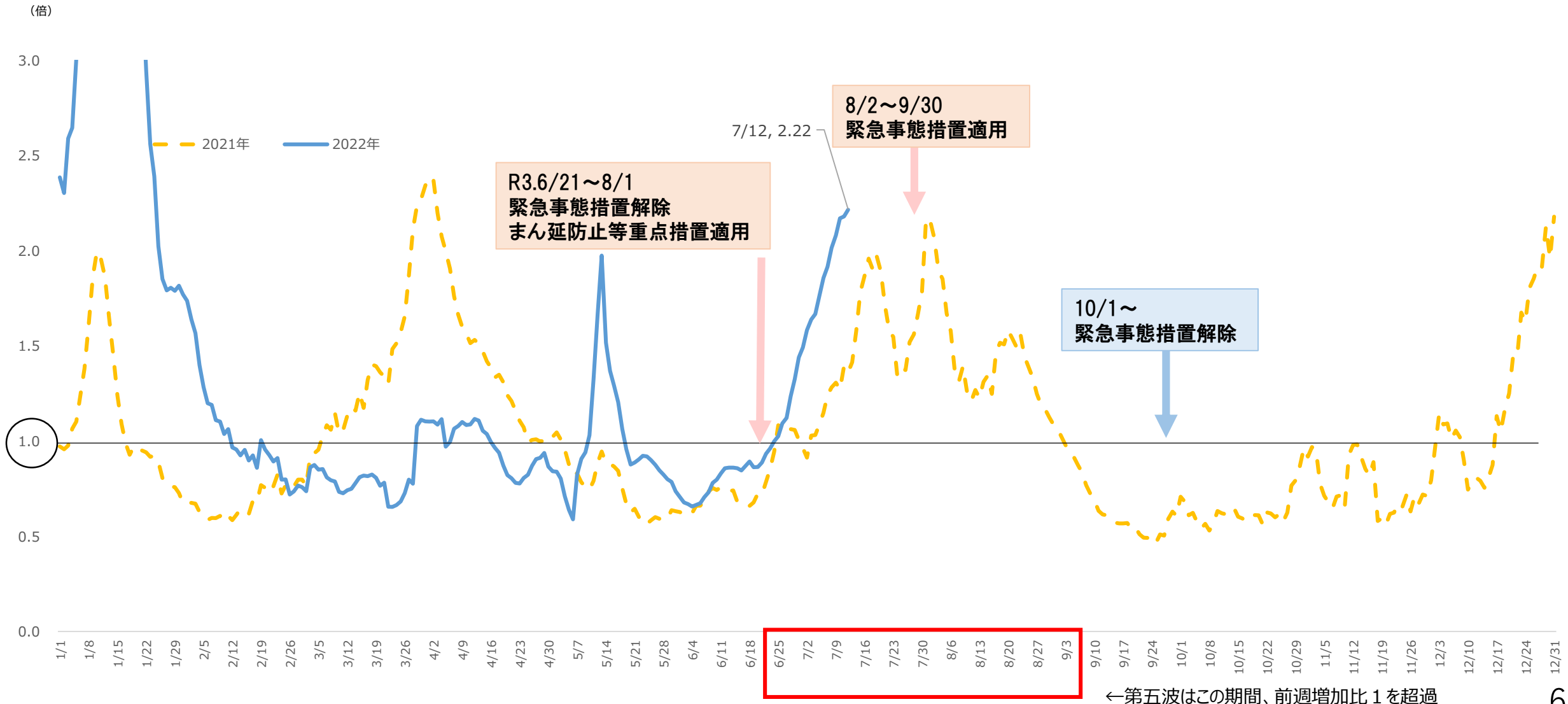
# 7日間毎の新規陽性者数(7月12日時点)

◆ 新規陽性者数は、直近3週間増加しており、直近の前週増加比は約2.22倍。  
 デルタ株の最大感染拡大速度(2.17倍)を上回る速度で急拡大している。  
 (直近1週間の1日あたり新規陽性者数 5,309人)



# 新規陽性者数 前週増加比 (7月12日時点)

◆ 6月25日より新規陽性者数前週増加比が1を超過し、急速度で増加。  
(第五波は令和3年6月下旬～9月上旬にかけて感染が拡大)



# 新規陽性者数及び前週同曜日増加比の推移（7月12日時点）

上段：新規陽性者数  
下段：前週同曜日増加比

◆ 6月22日より前週同曜日を上回り、直近は前週同曜日の約2.2倍増加。

	日	月	火	水	木	金	土	
5月	5月1日	2	3	4	5	6	7	週合計
	2,252 (0.82)	926 (0.96)	3,318 (0.84)	1,545 (0.42)	1,243 (0.41)	1,464 (0.56)	4,192 (3.77)	14,940 (0.82)
	8	9	10	11	12	13	14	週合計
	3,324 (1.48)	1,486 (1.60)	4,240 (1.28)	3,679 (2.38)	3,290 (2.65)	3,210 (2.19)	3,438 (0.82)	22,667 (1.52)
	15	16	17	18	19	20	21	週合計
	2,576 (0.77)	944 (0.64)	3,931 (0.93)	3,496 (0.95)	3,156 (0.96)	2,991 (0.93)	3,030 (0.88)	20,124 (0.89)
	22	23	24	25	26	27	28	週合計
	2,252 (0.87)	884 (0.94)	3,560 (0.91)	2,926 (0.84)	2,523 (0.80)	2,210 (0.74)	2,242 (0.74)	16,597 (0.82)

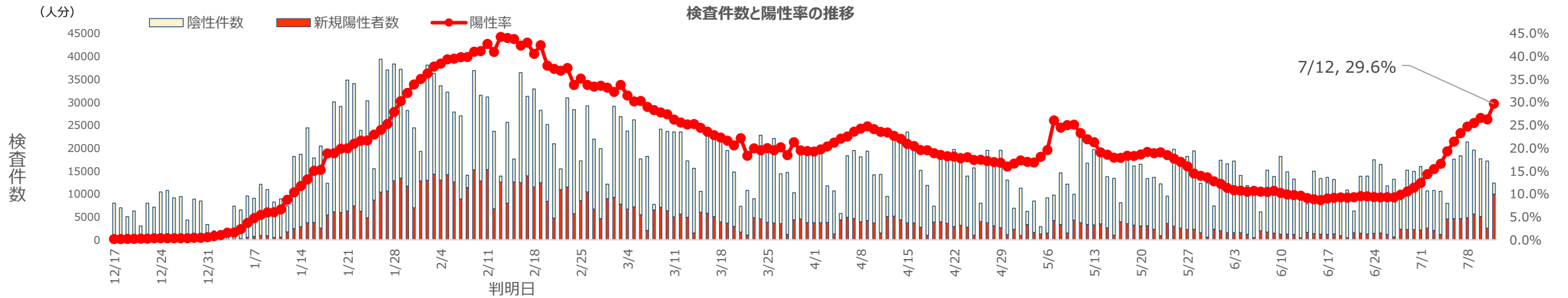
	日	月	火	水	木	金	土	
6月	29	30	31	6月1日	2	3	4	週合計
	1,502 (0.67)	548 (0.62)	2,314 (0.65)	1,977 (0.68)	1,531 (0.61)	1,529 (0.69)	1,493 (0.67)	10,894 (0.66)
	5	6	7	8	9	10	11	週合計
	1,153 (0.77)	461 (0.84)	1,924 (0.83)	1,644 (0.83)	1,418 (0.93)	1,192 (0.78)	1,255 (0.84)	9,047 (0.83)
	12	13	14	15	16	17	18	週合計
	1,150 (1.00)	424 (0.92)	1,590 (0.83)	1,320 (0.80)	1,213 (0.86)	1,125 (0.94)	1,255 (1.00)	8,077 (0.89)
	19	20	21	22	23	24	25	週合計
	883 (0.77)	394 (0.93)	1,511 (0.95)	1,413 (1.07)	1,247 (1.03)	1,365 (1.21)	1,471 (1.17)	8,284 (1.03)
26	27	28	29	30	1	2	週合計	
1,134 (1.28)	585 (1.48)	2,301 (1.52)	2,222 (1.57)	2,193 (1.76)	2,134 (1.56)	2,545 (1.73)	13,114 (1.58)	
7月	3	4	5	6	7	8	9	週合計
	2,009 (1.77)	1,150 (1.97)	4,522 (1.97)	4,620 (2.08)	4,615 (2.10)	4,805 (2.25)	5,566 (2.19)	27,287 (2.08)
	10	11	12	13	14	15	16	週合計
	5,081 (2.53)	2,515 (2.19)	9,960 (2.20)					

# 検査件数と陽性率（7月12日時点）

- ◆ 陽性率は6月下旬より増加し、7月12日時点で29.6%。
- ◆ 6月27日～7月3日の1週間における自費検査及び無料検査の陽性判明率は、前週より増加。

## 【行政検査】

※算出方法：「1週間の陽性者数（疑似症を除く）／1週間の検体採取をした人数」



## 【自費検査】

自費検査（府内に営業所がある自費検査のみを提供する民間会社等）及び新型コロナ検査実施事業者（薬局等）において有料で実施した検査件数

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
6/13～6/19	2,547 件	65 名	2.6 %
6/20～6/26	2,524 件	66 名	2.6 %
6/27～7/3	2,473 件	92 名	3.7 %

## 【無料検査】

新型コロナ検査実施事業者（薬局等）で実施された検査件数（ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業と感染拡大傾向時の一般検査事業の合計）

期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
6/13～6/19	38,696 件	475 名	1.2 %
6/20～6/26	36,863 件	519 名	1.4 %
6/27～7/3	37,081 件	868 名	2.3 %

※1 陽性判明数の中には、府外に発生届が提出されている人や確定診断されていない人も含まれるため、陽性判明数は参考値としています。（陽性者数は、国のシステム（HER-SYS）上、行政検査、自費検査、無料検査のいずれで陽性となったかは区別ができません。）

※2 上記のほか、高齢者施設等（入所・居住系）の従事者に対する抗原キット定期検査実施。

※3 当面の間、無料検査事業は継続。

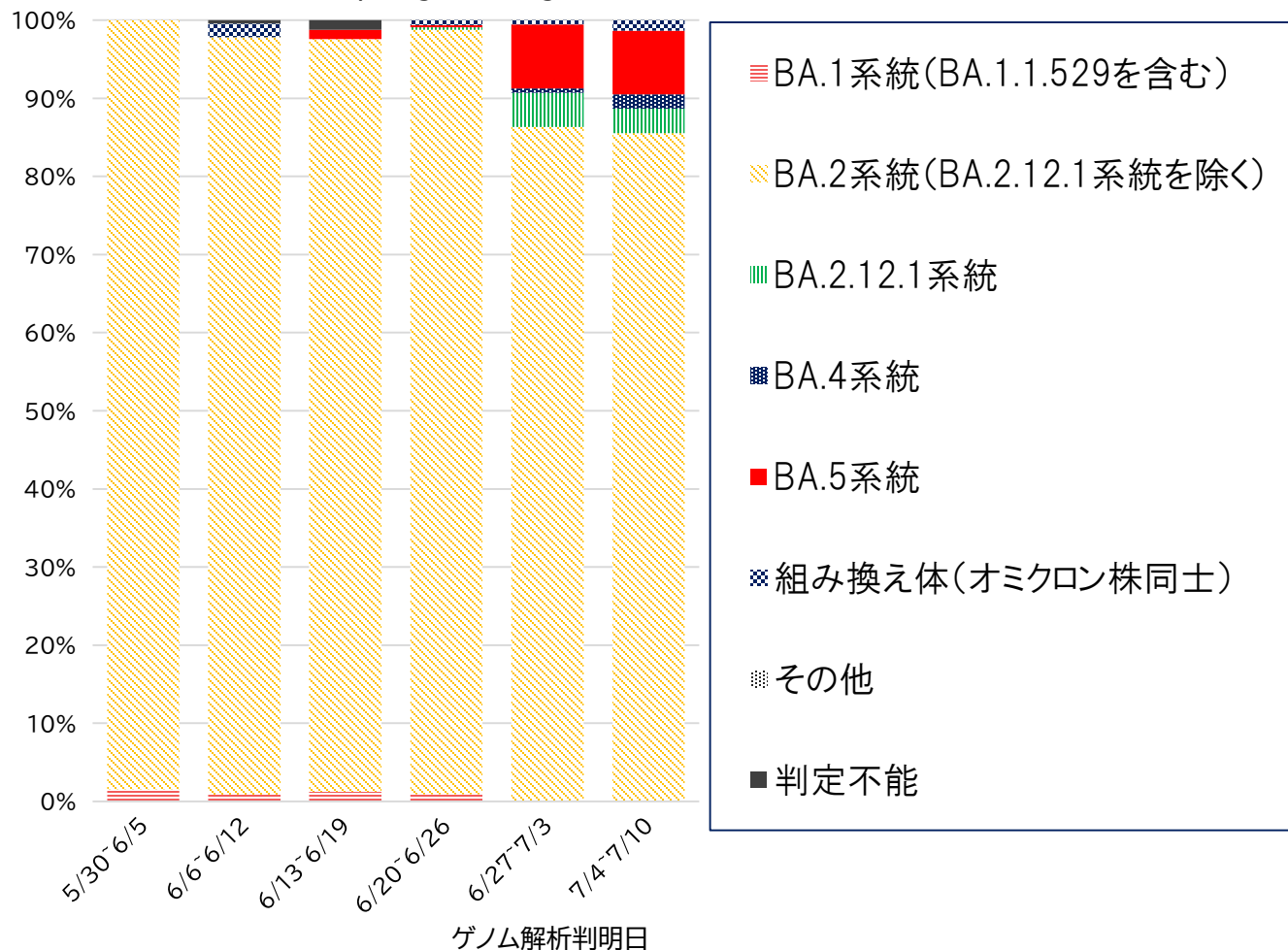


# オミクロン株 (BA.5系統等) の検出状況 R4.7.4~R4.7.10

◆ 変異株スクリーニング検査におけるBA.5系統又はBA.4系統の疑いのある株の検出率は、約39.2%。

○ゲノム解析により判明した変異株の検出割合

(対象期間に検出されたpango lineage(新型コロナウイルスの国際的な系統分類命名法)別に集計)



○ゲノム解析結果(BA.5系統、BA.4系統、BA.2.12.1系統確定例)

	6/20~6/26	6/27~7/3	7/4~7/10
BA.5系統	1	15	18 (36)
BA.4系統	0	1	4 (5)
BA.2.12.1系統	1	8	7 (17)

( )内はこれまでの累計

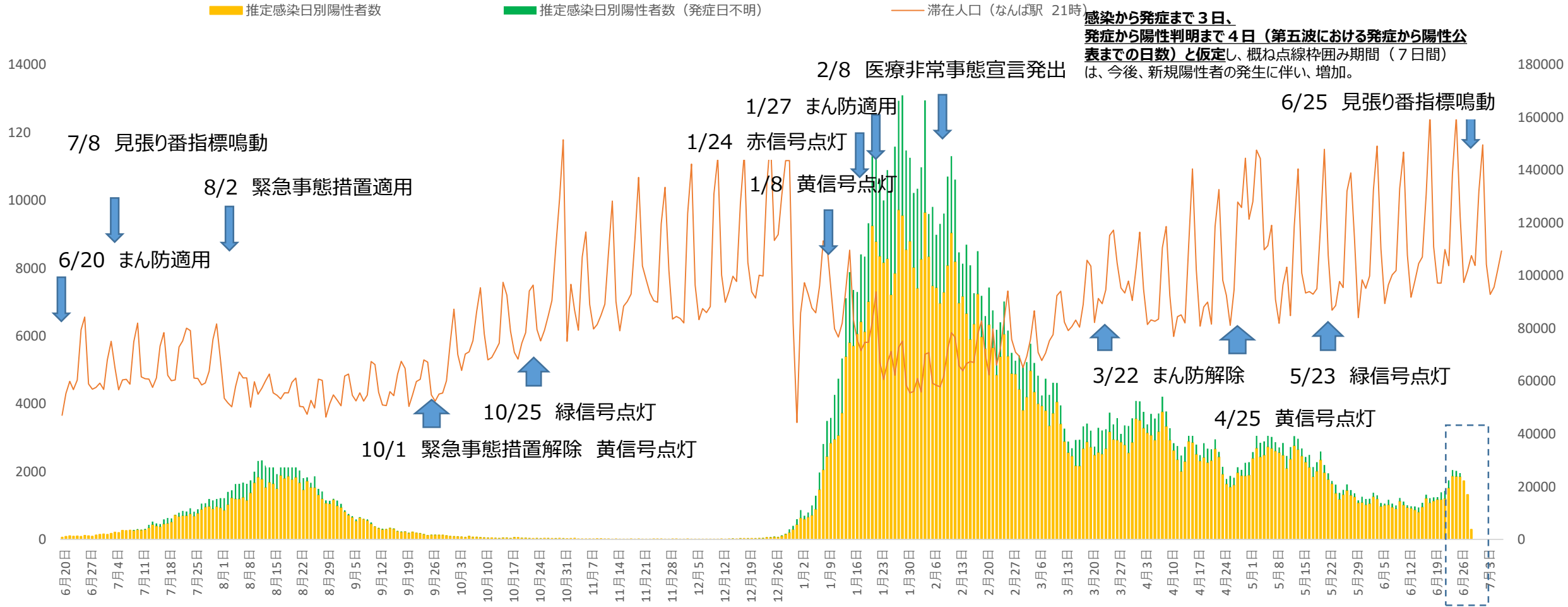
○変異株スクリーニング結果(BA.5系統又はBA.4系統疑い)

	6/20~6/26	6/27~7/3	7/4~7/10
BA.5系統又はBA.4系統の疑い検出数	16	99	219
変異株PCR検査数	185	368	559
検出率	約8.6%	約26.9%	約39.2%

※ゲノム解析はウイルス量の多い検体を対象にしており、全ての陽性検体を対象にはしていません。  
 また、感染拡大状況下による検査数増加に伴い、大量に検査可能な検査機関ほど、ゲノム解析に時間がかかる傾向にあります。  
 ※検査機関からの結果報告日毎に集計しており、当該週における発症日や検体採取日毎の発生状況を表しているわけではありません。

# 推定感染日別陽性者数と人流（夜間）（7月3日時点）

- ◆ 推定感染日別陽性者数は、6月中旬より増加。
- ◆ 人流は年末を上回る高水準で推移。



**感染拡大の兆候を感知するための見張り番指標** 20・30代新規陽性者数7日間移動平均の前日増加比が4日連続1を超過した場合、府民への注意喚起等を実施。

※推定感染日：**発症日から3日前と仮定** オミクロン株感染例の潜伏期間解析結果に基づく（R4.1.13国立感染症研究所「SARS-CoV-2の変異株B.1.1.529系統（オミクロン株）について（第6報）」より）  
 ※有症状で発症日が確認できなかった事例について、陽性判明日から7日遡って算出  
 ※人流は、駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント【出典：株式会社Agoop】

# 大阪モデル「警戒」への移行（黄信号点灯）について

## 【大阪モデルの状況】

◆7月10日に病床使用率が「警戒（黄信号）」の目安に到達。

	警戒の目安	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10
1. 直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	明らかな増加傾向	165.10	190.30	217.50	244.98	275.28	309.56	344.41
2. 病床使用率	20%以上	14.6%	15.4%	15.9%	16.8%	18.7%	19.4%	20.6%
3. 重症病床使用率	10%以上	0.5%	0.8%	0.7%	0.8%	1.3%	1.3%	1.2%
信号	1かつ2または3の目安に達した場合 黄							

○6月25日より新規陽性者数前週増加比が1を超過（7月10日時点で2.17倍 ※第五波の最大感染拡大速度と同速度 第六波は8.92倍）。

○オミクロン株亜系統（BA.5系統又はBA.4系統疑い）への置き換わりが進み（6/20～26 約8.6% → 6/27～7/3 約26.9%）（※）、夏休みやお盆等による感染機会の増加による影響等から、当面、感染拡大が続くことが懸念される。

⇒現在の感染拡大状況等をふまえ、病床使用率の目安到達をもって、「警戒解除（緑信号）」から「警戒（黄信号）」  
に移行する。（適用日：7月11日）

## 2 年代別・居住地別比較

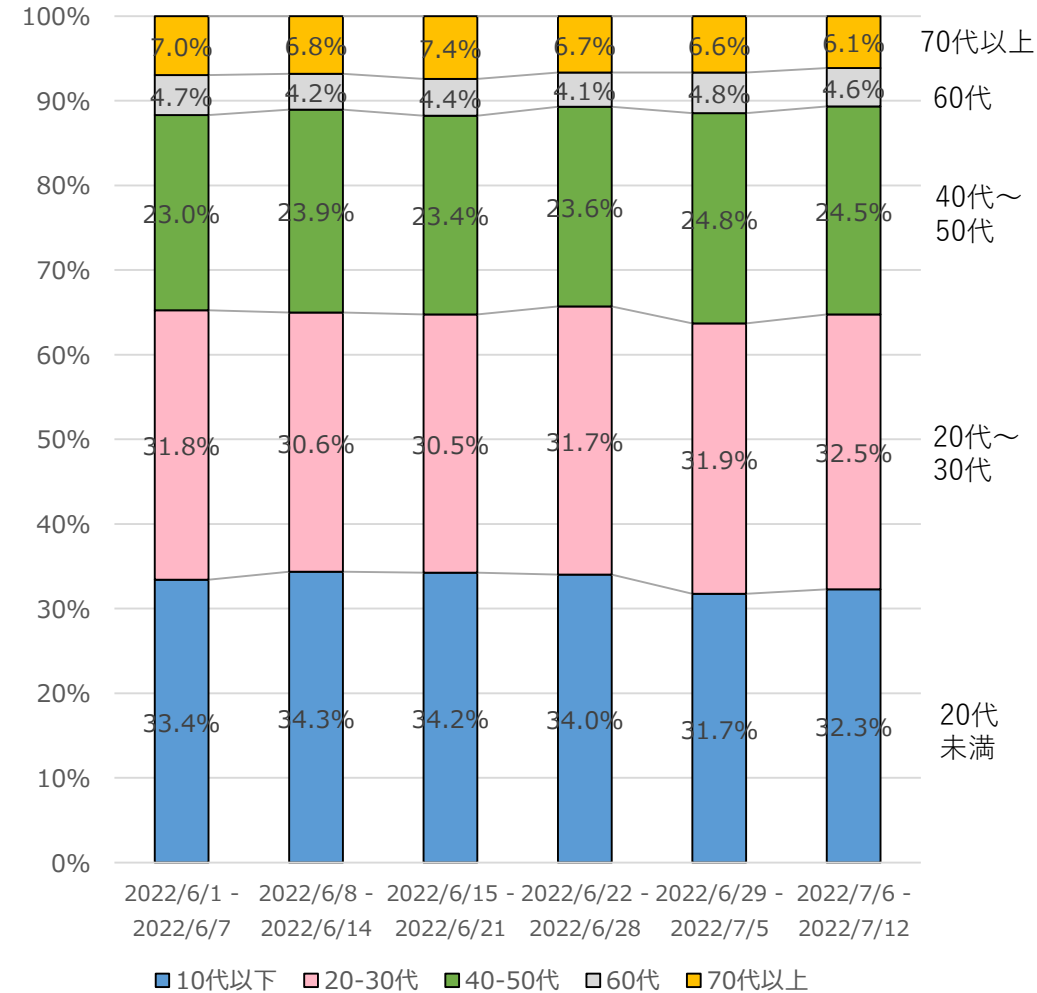
# 年代別新規陽性者数の推移 (7月12日時点)

◆ 各年代別新規陽性者数 (7日間移動平均) は、各年代とも増加。

## 【年代別新規陽性者数 (7日間移動平均) の推移】



## 【陽性者の年齢区分 (割合、1週間単位)】



## 【年代別新規陽性者数 (7日間移動平均) 前日増加比】

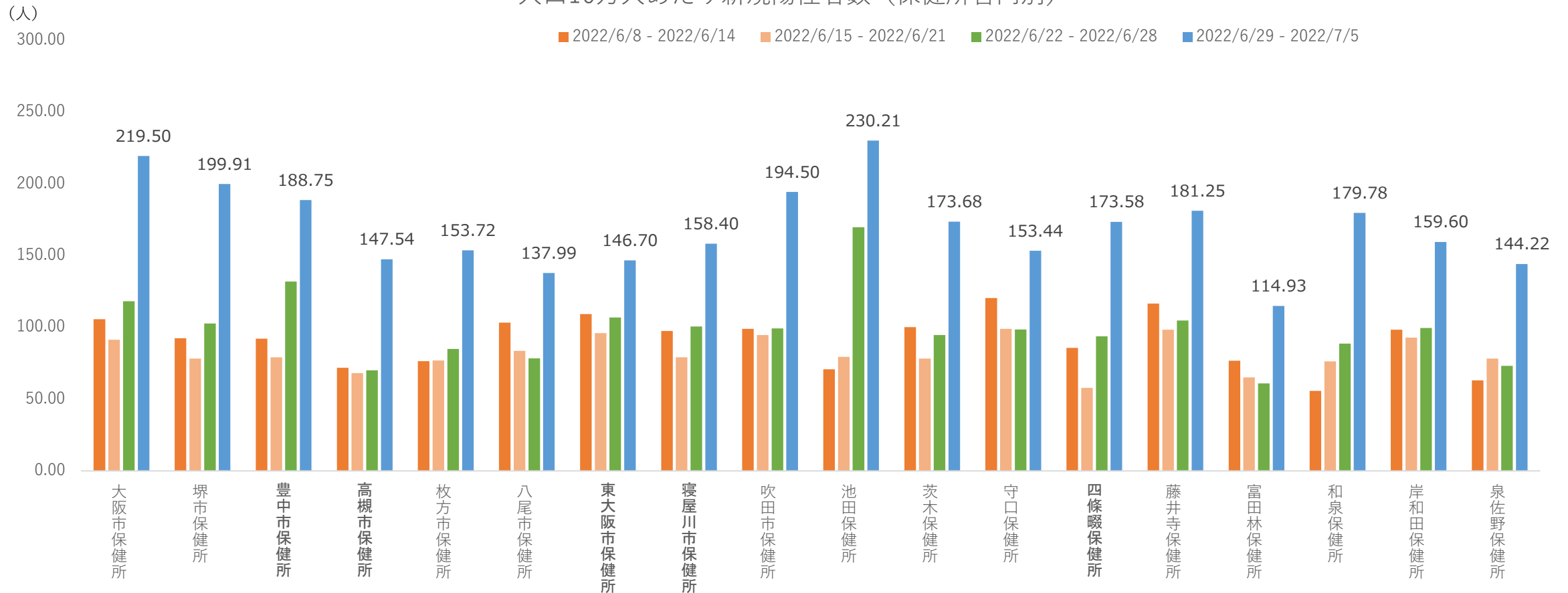
	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
10代以下	1.02	1.10	1.07	1.08	1.05	1.06	1.05	1.04	1.16	1.13	1.11	1.11	1.15	1.13	1.04	1.20
20~30代	1.02	1.09	1.09	1.11	1.08	1.09	1.06	1.04	1.14	1.16	1.15	1.13	1.11	1.11	1.05	1.16
40~50代	1.01	1.09	1.09	1.08	1.07	1.11	1.09	1.05	1.17	1.14	1.14	1.13	1.11	1.11	1.04	1.16
60代以上	1.04	1.06	1.11	1.10	1.08	1.12	1.08	1.04	1.14	1.13	1.09	1.11	1.11	1.10	1.06	1.16

前日増加比が1を超過した日

# 第六波の保健所管内別陽性者の状況（7月5日時点）

◆ 直近1週間は、全ての保健所管内で陽性者数が急増。

人口10万人あたり新規陽性者数（保健所管内別）



【池田】池田市・箕面市・豊能町・能勢町 【茨木】茨木市・摂津市・島本町 【守口】守口市・門真市 【四條畷】大東市・四條畷市・交野市  
 【藤井寺】松原市・羽曳野市・柏原市・藤井寺市 【富田林】富田林市・河内長野市・大阪狭山市・太子町・河南町・千早赤阪村  
 【和泉】泉大津市・和泉市・高石市・忠岡町 【岸和田】岸和田市・貝塚市 【泉佐野】泉佐野市・泉南市・阪南市・熊取町・田尻町・岬町

※居住地による（居住地为非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く）

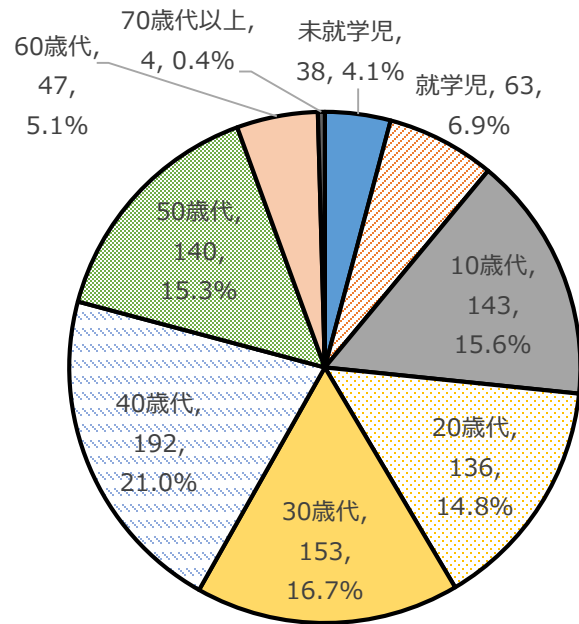
### 3 感染エピソードやクラスターの 発生状況

# 重症化リスクの少ない陽性者へのアンケート

- ◆ 令和4年6月29日より、感染経路などを把握するため、重症化リスクの少ない陽性者へ送付するSMS（ショートメール）等を活用したアンケートを実施。
- ◆ 症状は、発熱が8割強、のどの痛みが約7割など高い一方、無症状である割合は1.2%と低い。

7月8日時点 回答率 8.8% (916人/10,402人)

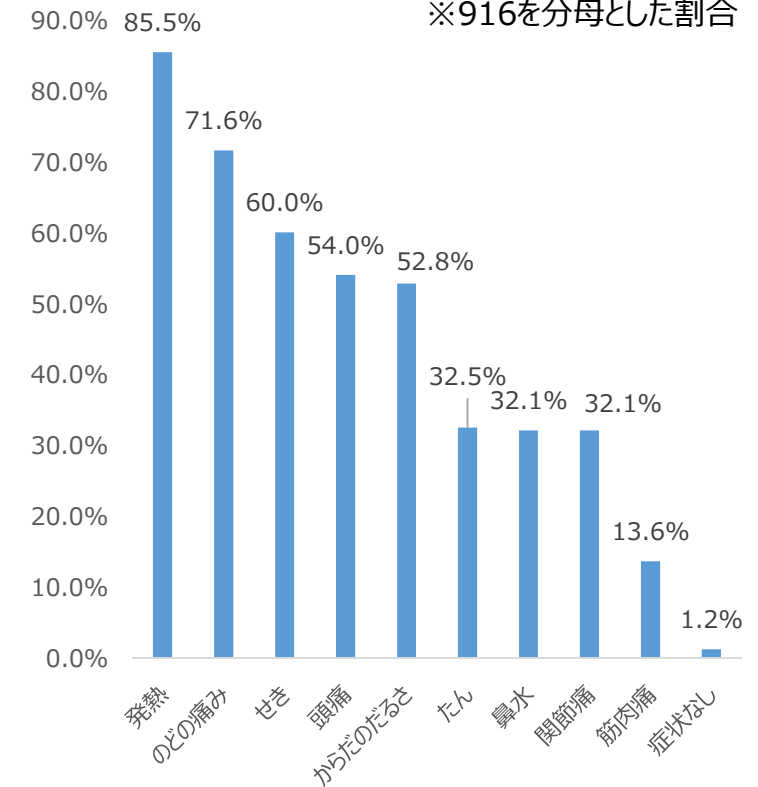
【年代】



【ワクチン接種歴】

	未接種	1回・2回済	3回済	4回済	回答なし	総計	3回済割合
未就学児	38					38	-
就学児	57	6				63	-
10代	62	66	15			143	10.5%
20代	20	62	53		1	136	39.0%
30代	29	57	66		1	153	43.1%
40代	24	58	110			192	57.3%
50代	12	21	106		1	140	75.7%
60代	3	6	37	1		47	78.7%
70代以上			4			4	100.0%
総計	245	276	391	1	3	916	42.7%

【症状】（複数回答可）



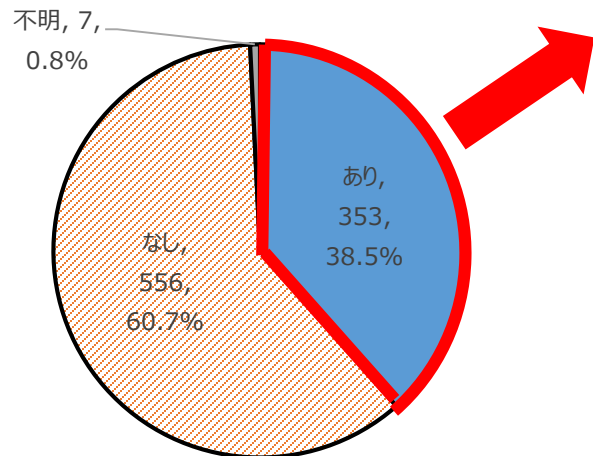
※重症化リスクのある者を含む陽性者全員に対し、SMSを送付している保健所が一部あり。  
（ただし、65歳以上の方には全員電話連絡を実施）



# 重症化リスクの少ない陽性者へのアンケート

- ◆ 感染の心当たりがある割合は、全体の約4割（353人）。  
そのうち、長時間の会話を伴う場面が2割弱、食事を伴う場面が約2割（ただし複数回答）。
- ◆ 感染の心当たりがある場面における感染対策実施状況として、6割弱がマスクを着用しておらず、7割弱が換気を十分にできていなかった。また、9割弱がソーシャルディスタンスが十分でなかった。

## 【感染の心当たり】



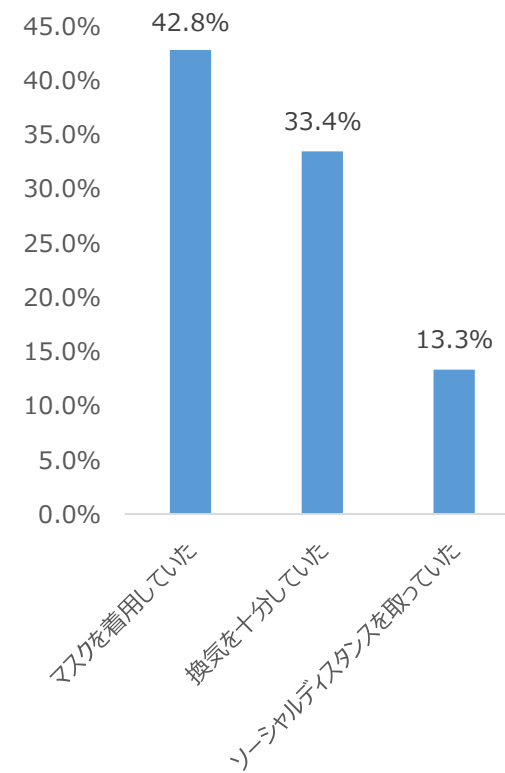
## 【感染の心当たりがある353人の事例】（複数回答可）

※353を分母とした割合

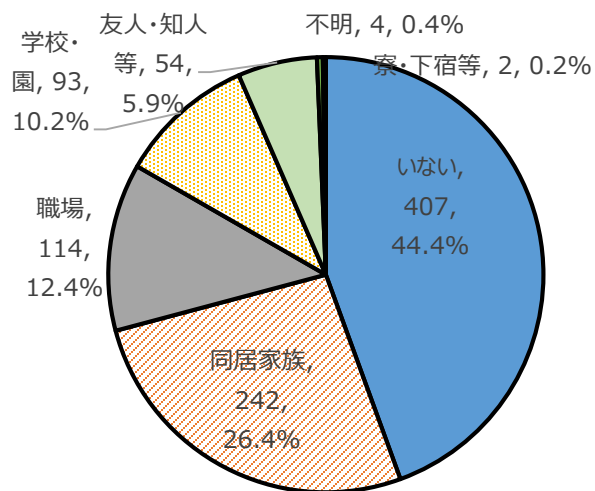
心あたりがある場面	回答数	割合
長時間、会話を伴う業務や授業	56	15.9%
飲酒・接待を伴う会食（従業員含む）	40	11.3%
食事をしながら打ち合わせ等	29	8.2%
団体スポーツ・スポーツジム等	19	5.4%
同僚や友人等と同じ車で長時間移動	17	4.8%
出張や旅行（個人・家族等少人数のもの）	13	4.0%
カラオケ	10	3.7%
出張や旅行（団体・修学旅行等大人数のもの）	7	2.8%
休憩室・喫煙所において、マスクを外しての会話	7	2.0%
帰省	6	2.0%
イベント（大声あり・屋内）例：ライブ、フェス等	6	1.7%
イベント（大声なし・屋内）例：観劇、映画鑑賞等	3	1.7%
結婚式	2	0.8%
海外旅行	1	0.6%
法事・墓参り	1	0.3%
イベント（大声あり・屋外）例：スポーツ観戦、屋外フェス等	1	0.3%

## 感染の心当たりのある場面における感染対策実施状況（複数回答可）

※353を分母とした割合



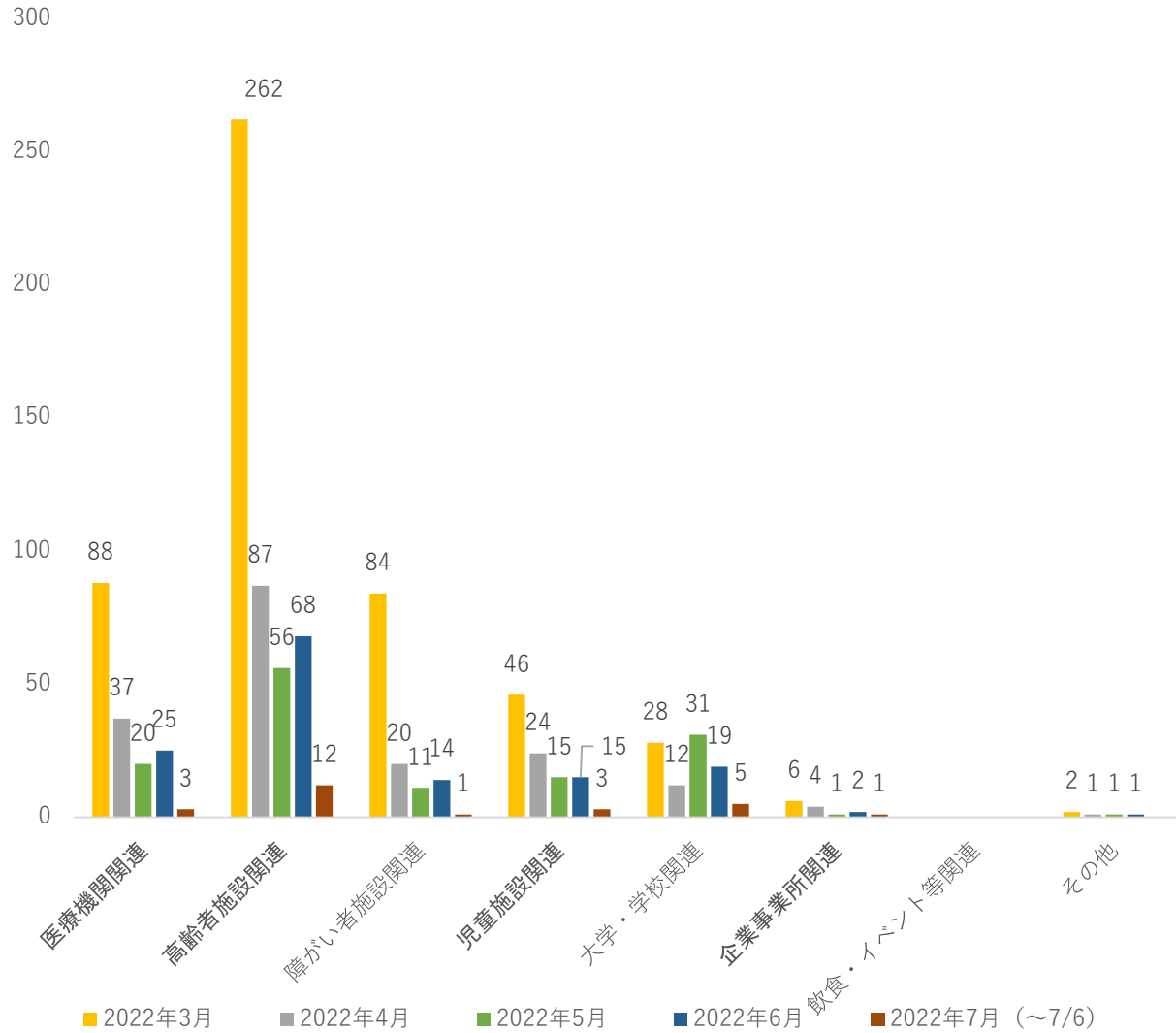
## 【身近な陽性者】



# クラスター状況【実数】

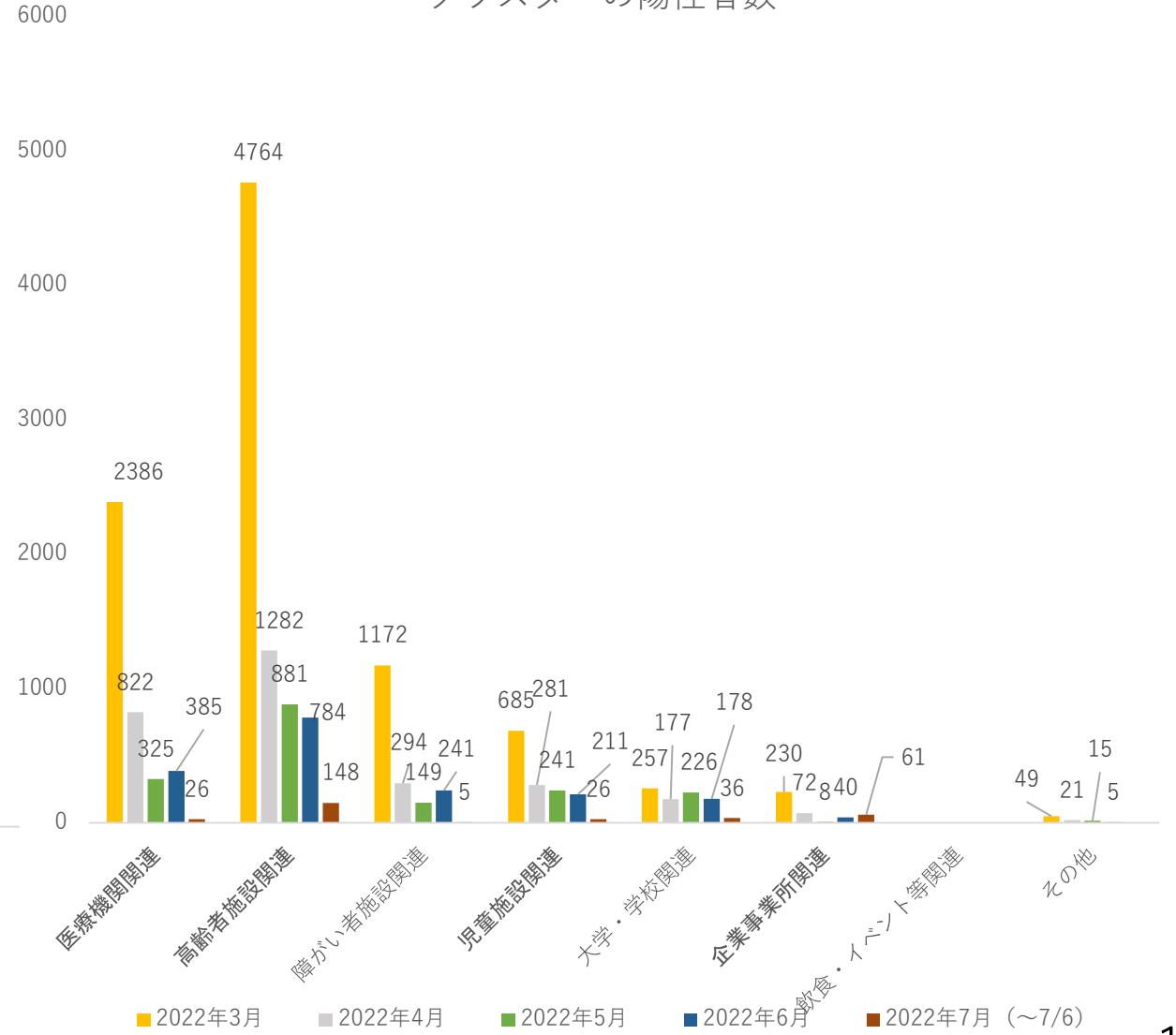
◆ クラスターは、高齢者施設関連、医療機関関連の順に多く発生。

クラスターの施設数



(6日間)

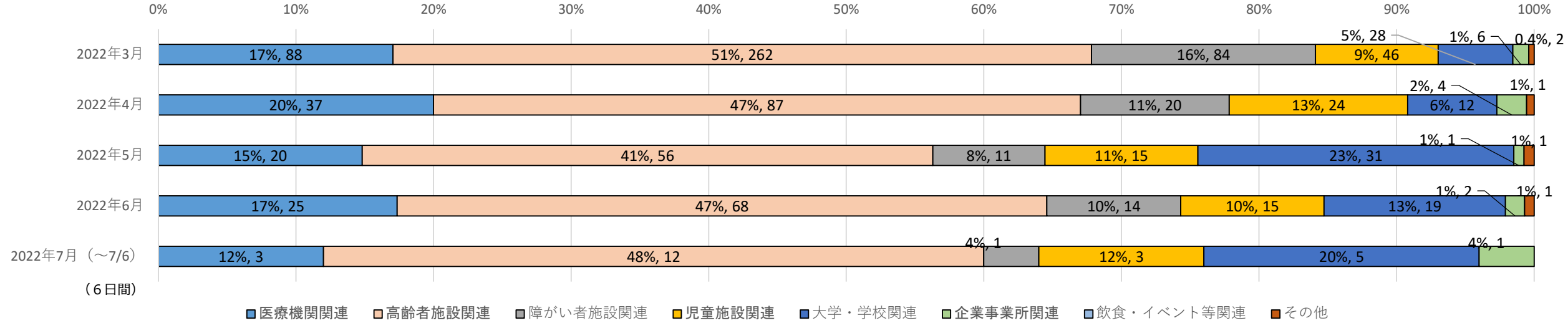
クラスターの陽性者数



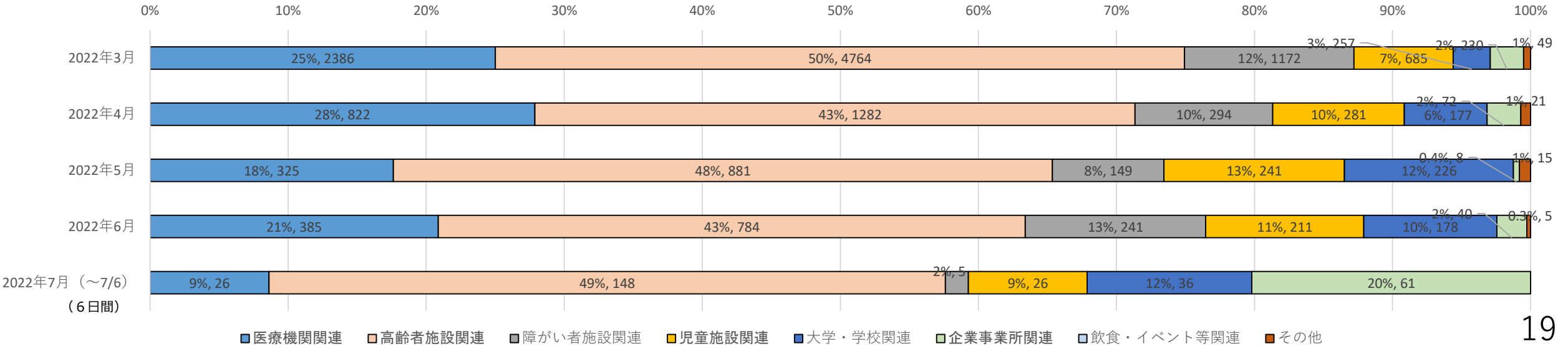
(6日間)

# クラスター状況【割合】

## 施設数（割合）



## 陽性者数（割合）



# 4 ワクチン分析

## 新型コロナワクチンの年齢別接種率

- ◆ 3回目接種の割合は、全年齢では5割超。65歳以上では9割弱。40代で約5割であり、30代以下では5割を下回っている。
- ◆ 4回目接種は65歳以上で3.6%。

	人口	1回目接種	2回目接種	3回目接種	4回目接種
		接種割合	接種割合	接種割合	接種割合
65歳以上	2,385,612	92.9%	92.7%	87.7%	3.6%
60～64歳	459,527	92.9%	92.7%	81.0%	1.1%
50代	1,219,649	92.0%	91.7%	70.4%	
40代	1,322,085	79.2%	78.9%	49.6%	
30代	1,014,384	76.9%	76.4%	40.2%	
20代	979,470	75.7%	75.1%	36.0%	
18、19歳	161,014	79.0%	78.2%	28.4%	
12～17歳	466,717	61.1%	60.4%	14.3%	
5～11歳	504,804	7.1%	6.6%		
不明					
合計（全年齢）	8,839,511	77.8%	77.3%	55.1%	
合計（5歳以上）	8,513,262	80.8%	80.3%	57.3%	
合計（12歳以上）	8,008,458	85.4%	85.0%	60.9%	
合計（18歳以上）	7,541,741	86.9%	86.5%	63.7%	

# 新規陽性者数と重症・死亡例のワクチン接種歴（令和4年6月30日判明時点）

- ◆令和4年6月1日から6月30日に陽性判明した40,373名のうち、ワクチンを3回接種していた者は8,576名（21.2%）であった。  
60代以上の陽性者4,581名のうち、ワクチン3回接種済は2,783名（60.8%）であった。
- ◆ワクチン3回接種済8,576名のうち、重症化したものは2名、死亡した者は10名。
- ◆20代以上におけるワクチン接種歴別の重症・死亡の割合は、未接種者に比べ、3回接種済の者の方が低かった。

6月陽性判明	全体の新規陽性者数【A】	ワクチン接種あり（3回）						ワクチン接種あり（2回以下）						接種なし・不明					
		陽性者数【B】	割合【B/A】	重症【C】	重症者の割合【C/B】	死亡【D】	死亡者の割合【D/B】	陽性者数【E】	割合【E/A】	重症【F】	重症者の割合【F/E】	死亡【G】	死亡者の割合【G/E】	陽性者数【H】	割合【H/A】	重症【I】	重症者の割合【I/H】	死亡【J】	死亡者の割合【J/H】
未就学児	3,433	0	0.0%	0		0		11	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	3,422	99.7%	0	0.0%	0	0.0%
就学児	2,976	0	0.0%	0		0		73	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	2,903	97.5%	0	0.0%	0	0.0%
10代	7,112	284	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	2,279	32.0%	0	0.0%	0	0.0%	4,549	64.0%	3	0.1%	0	0.0%
20・30代	12,730	2,412	18.9%	1	0.0%	0	0.0%	4,236	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	6,082	47.8%	1	0.0%	0	0.0%
40・50代	9,493	3,089	32.5%	0	0.0%	0	0.0%	2,605	27.4%	1	0.0%	0	0.0%	3,799	40.0%	1	0.0%	0	0.0%
60代以上	4,581	2,783	60.8%	1	<b>0.0%</b>	10	<b>0.4%</b>	487	10.6%	1	<b>0.2%</b>	6	<b>1.2%</b>	1,311	28.6%	4	<b>0.3%</b>	17	<b>1.3%</b>
調査中	48	8	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	16	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	24	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	40,373	8,576	21.2%	2	0.0%	10	0.1%	9,707	24.0%	2	0.0%	6	0.1%	22,090	54.7%	9	0.0%	17	0.1%

※陽性者のワクチン接種状況は保健所による聞き取りやHER-SYSデータに基づく（6月30日判明時点）

※重症者及び死亡者の割合について令和4年7月3日判明時点までの重症・死亡者数に基づく。今後、重症・死亡者数の推移により変動。

# 5 入院・療養状況

# 新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【重症】

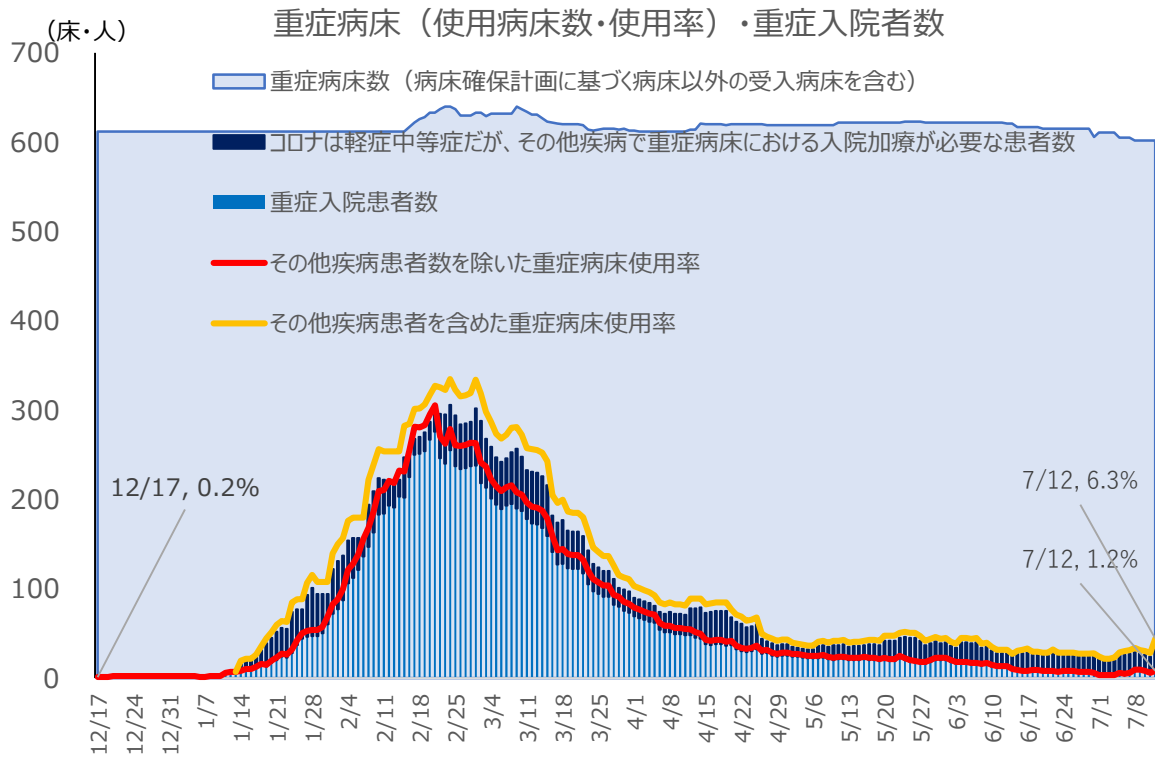
◆ 重症病床使用率（コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数を除く）は、7月12日時点で1.2%とやや増加傾向。

## ● 確保病床と使用率

7月12日現在 **病床使用1.2% (6.3%)**

病床数 602床 入院患者数 7人 (38人)

※ ( ) の%、人数は、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数31人を含めた場合の率と患者数

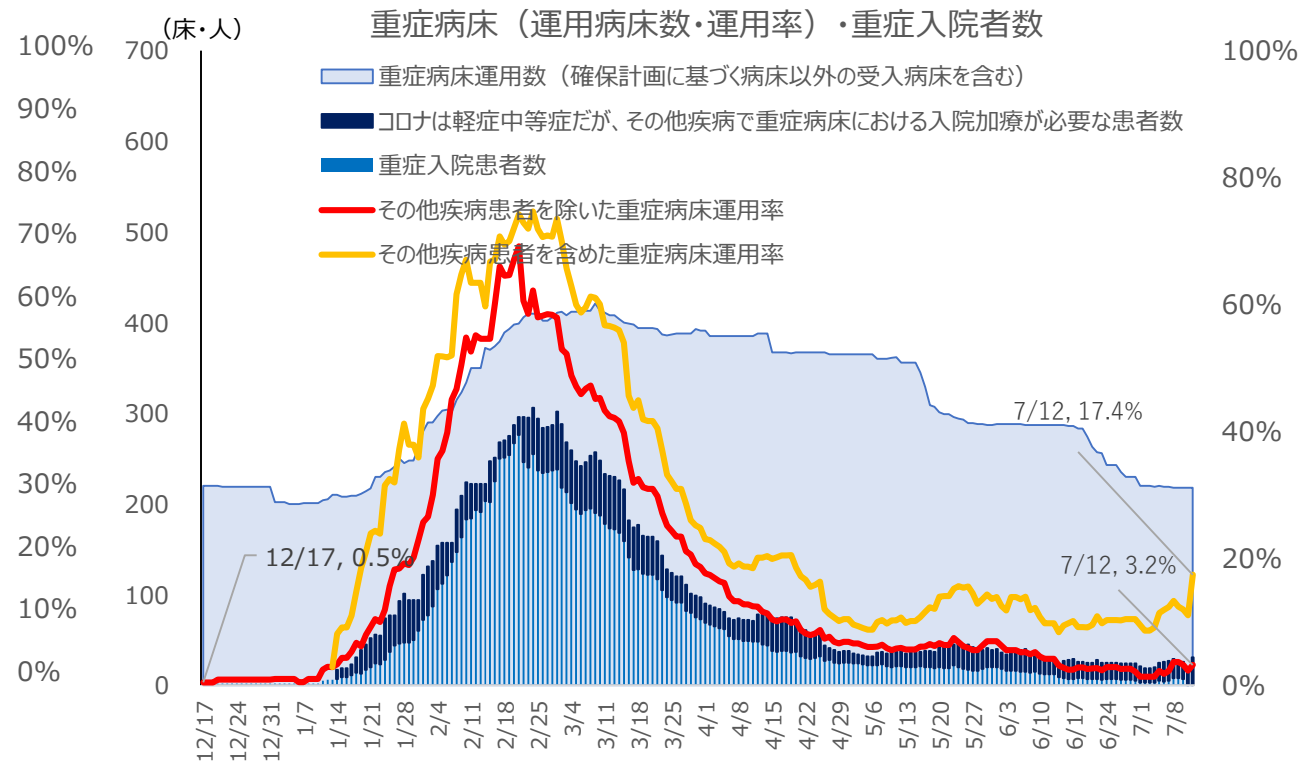


## ● 運用病床と運用率

7月12日現在 **病床運用率3.2% (17.4%)**

運用病床数 218床 入院患者数 7人 (38人)

※左記に同じ





# 新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【軽症中等症】

◆ 軽症中等症病床使用率は13.2%を底に増加に転じ、7月12日時点で27.7%。

## ● 確保病床と使用率

7月12日現在 **病床使用率27.7%**

病床数 3,894床 入院患者数1,078人

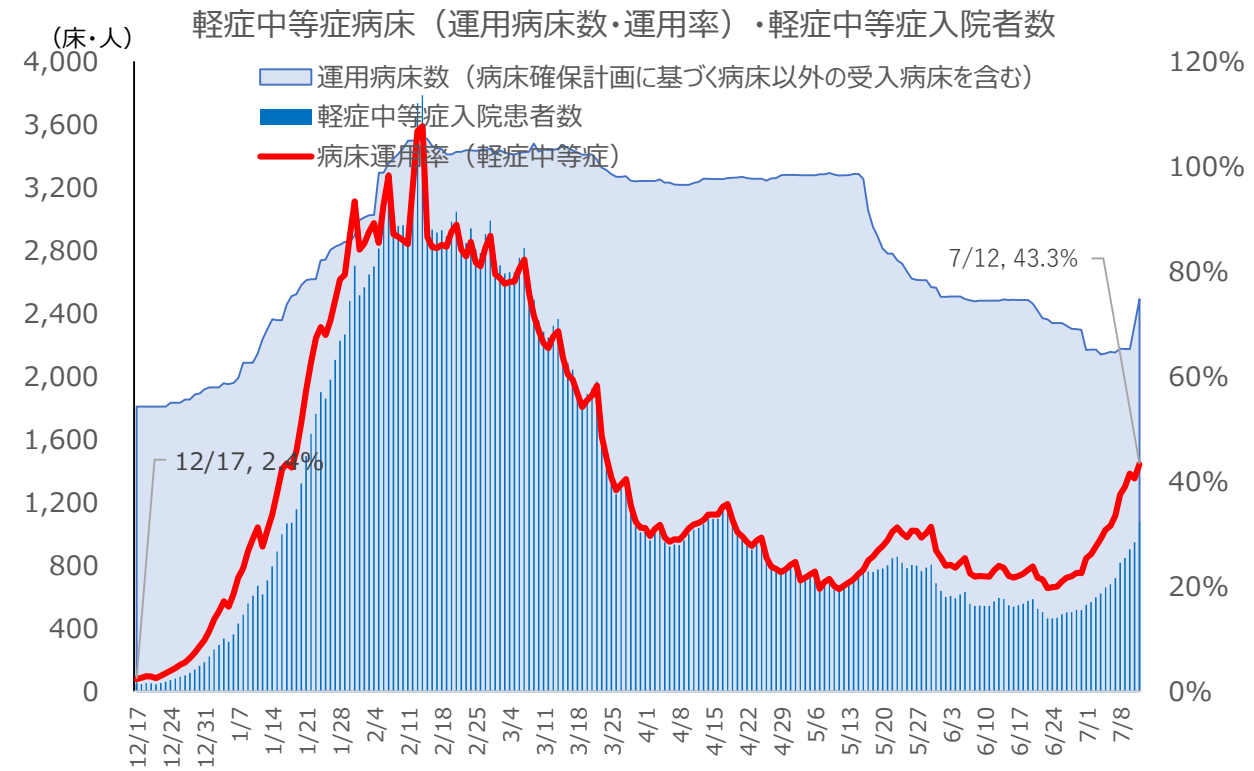
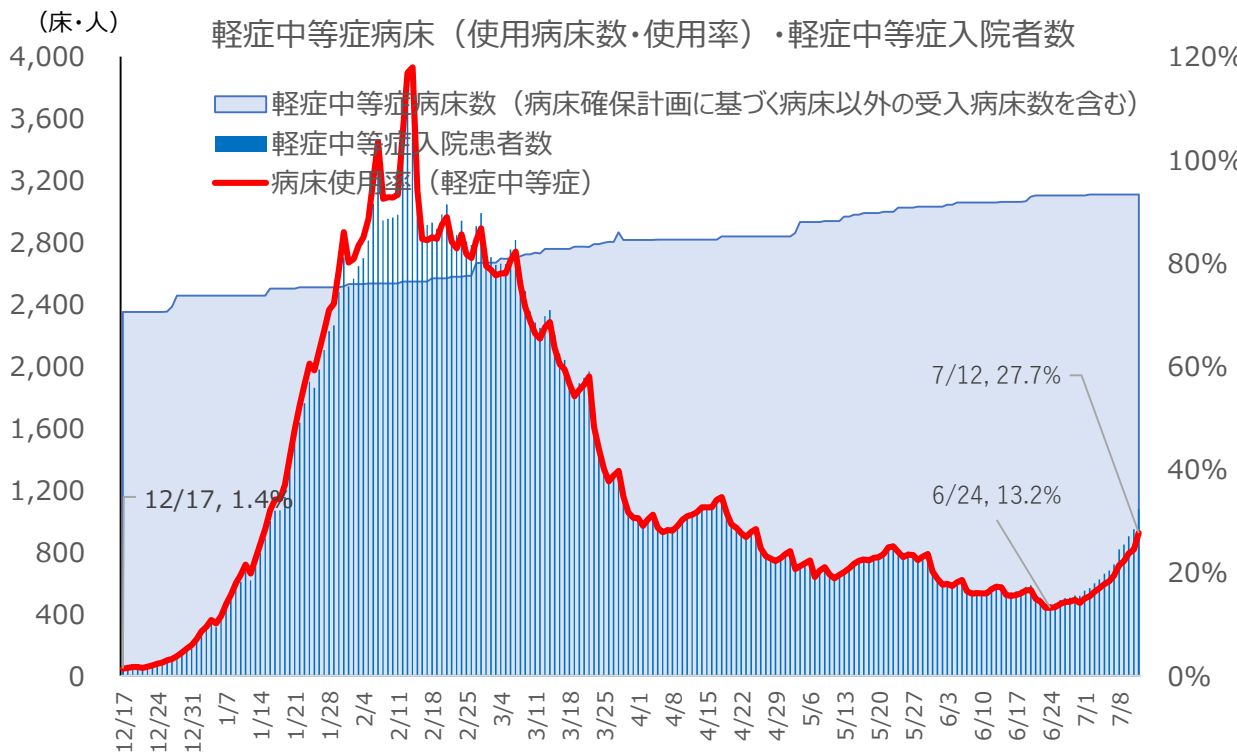
※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数44床を含める  
 ※患者数には、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数31人を含める。

## ● 運用病床と運用率

7月12日現在 **病床運用率43.3%**

運用病床数 2,491床 入院患者数1,078人

※左記に同じ



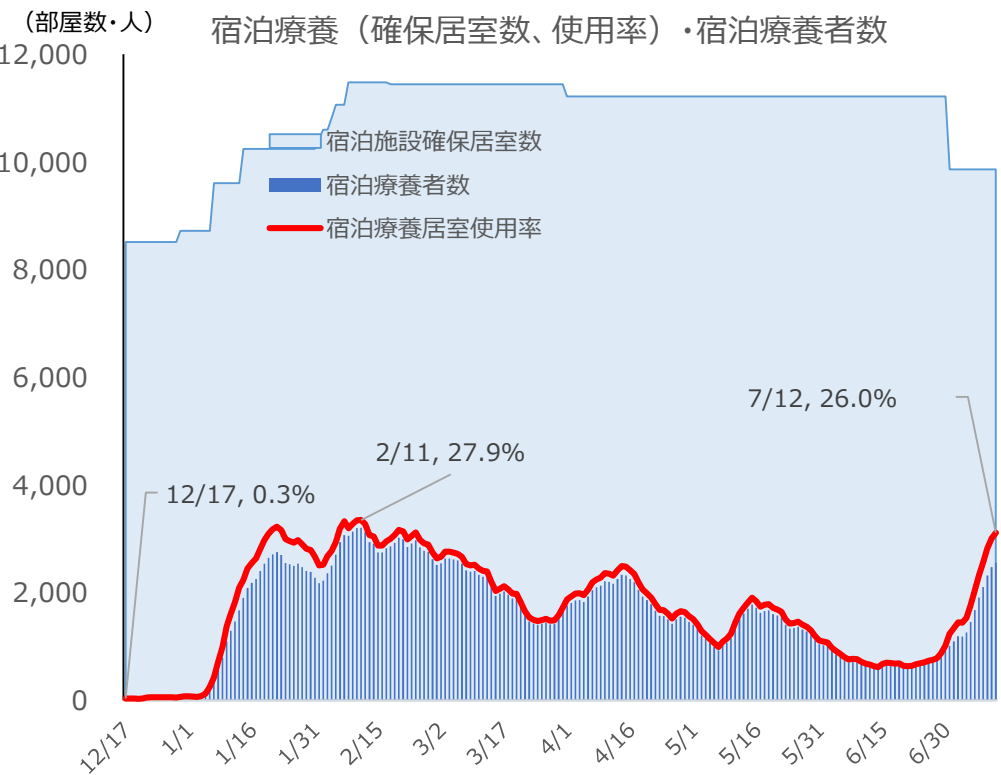
※7月12日、受入医療機関に対し、フェーズ5（軽症中等症）への移行を通知(7月13日～)

# 新型コロナウイルス感染症宿泊・自宅療養者、入院・療養等調整中者数

- ◆ 宿泊療養施設居室使用率は、感染拡大に伴い増加しており、7月12日時点で26.0%。
- ◆ 現在、自宅待機している方（自宅療養者数、入院・療養等調整中者数の合計）は42,489人と増加。

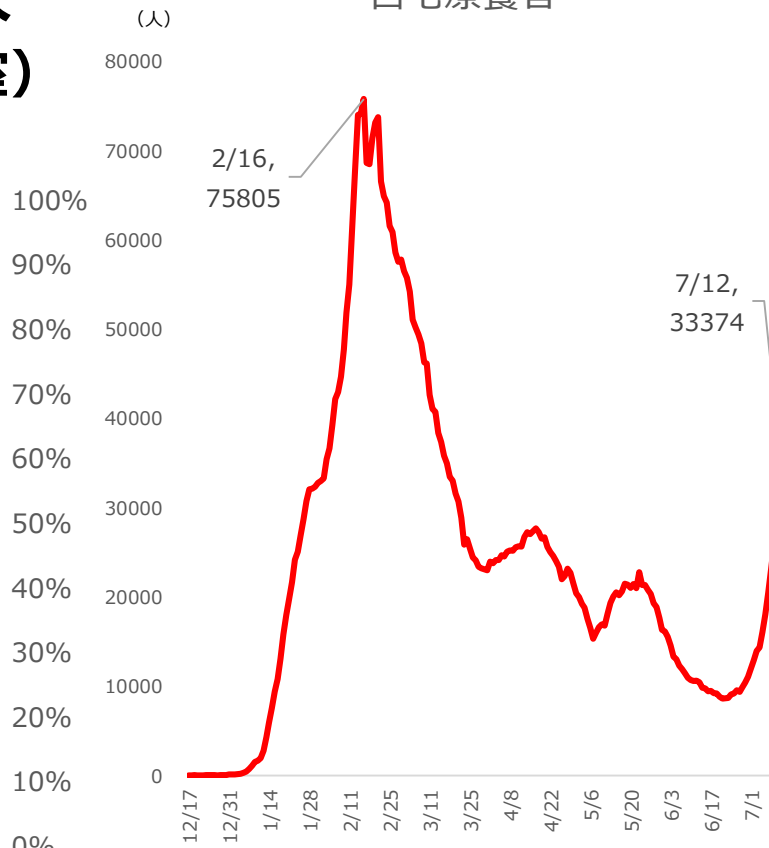
## ● 宿泊療養施設使用状況

**7月12日現在 使用率26.0%**  
**居室使用数9,861室 療養者数 2,560人**  
**運用率55.4% (運用居室数 4,623室)**

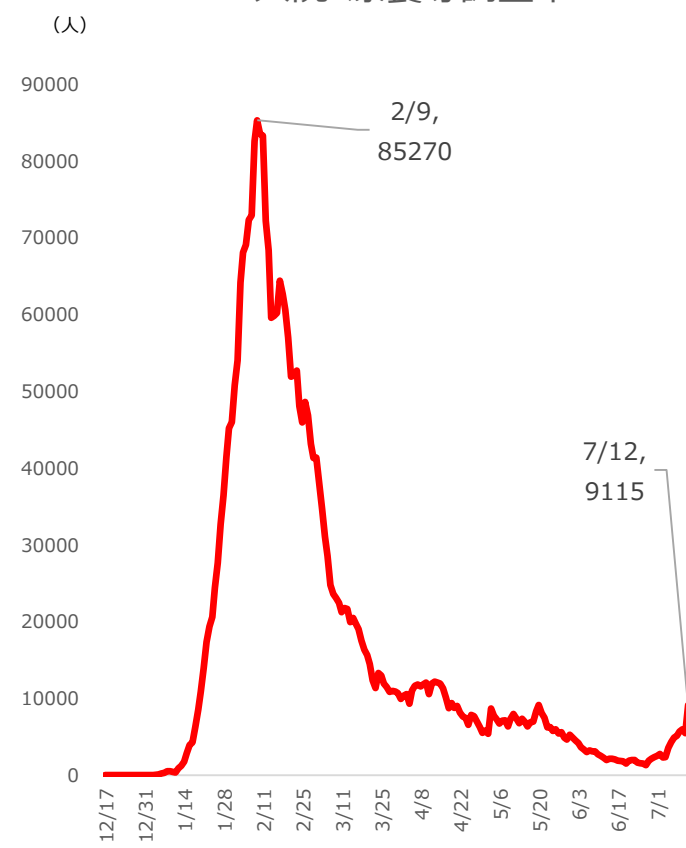


## ● 自宅療養者数と入院・療養等調整中の数

自宅療養者



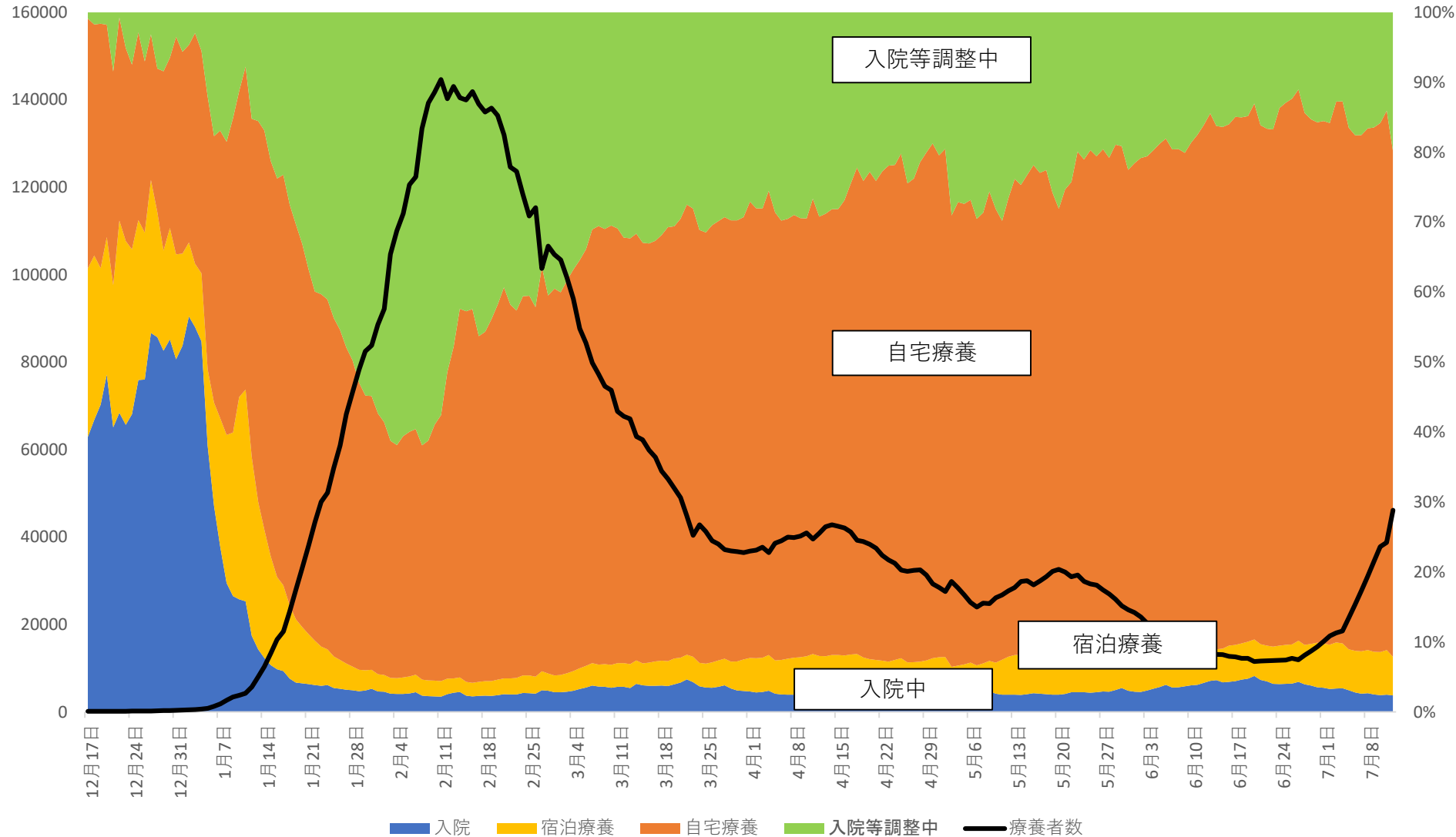
入院・療養等調整中



※7月12日、フェーズ6（8500室）へ引上げ

# 入院・療養状況 (7月12日時点)

◆ 入院率は、7月12日時点で2.4%。



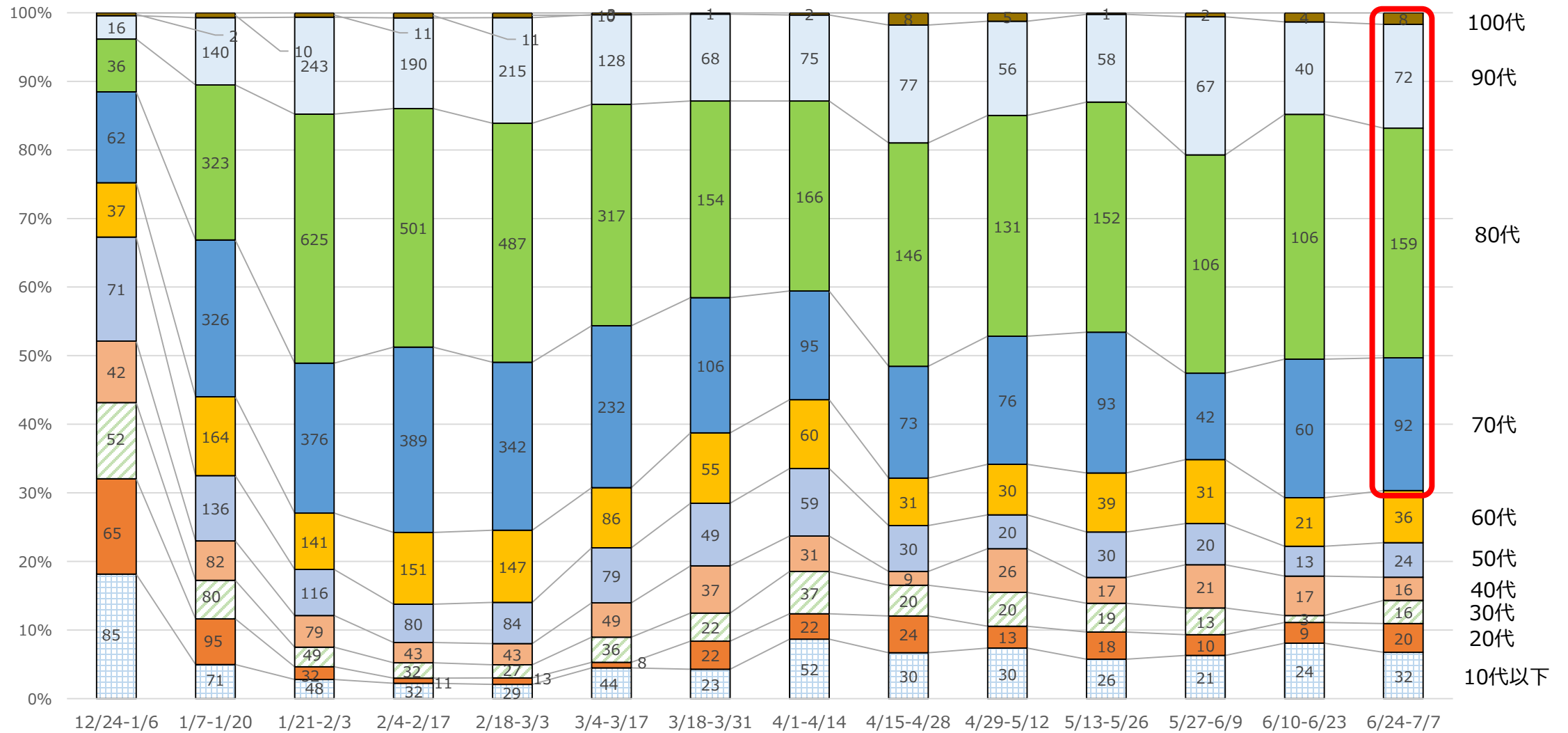
	第六波 (2/11)	第七波 (7/12)
入院等調整中	57.6%	19.8%
自宅療養	38.0%	72.3%
宿泊療養	2.2%	5.5%
入院中	2.2%	2.4%
療養者数	144,639人	46,134人

※第六波は、最大療養者数となった日

※ 1月5日に患者の全員入院対応を見直し。1月7日、1月25日に入院・宿泊療養対象を見直し

# 入院調整時の入院患者の年代別割合（12月24日～7月7日）

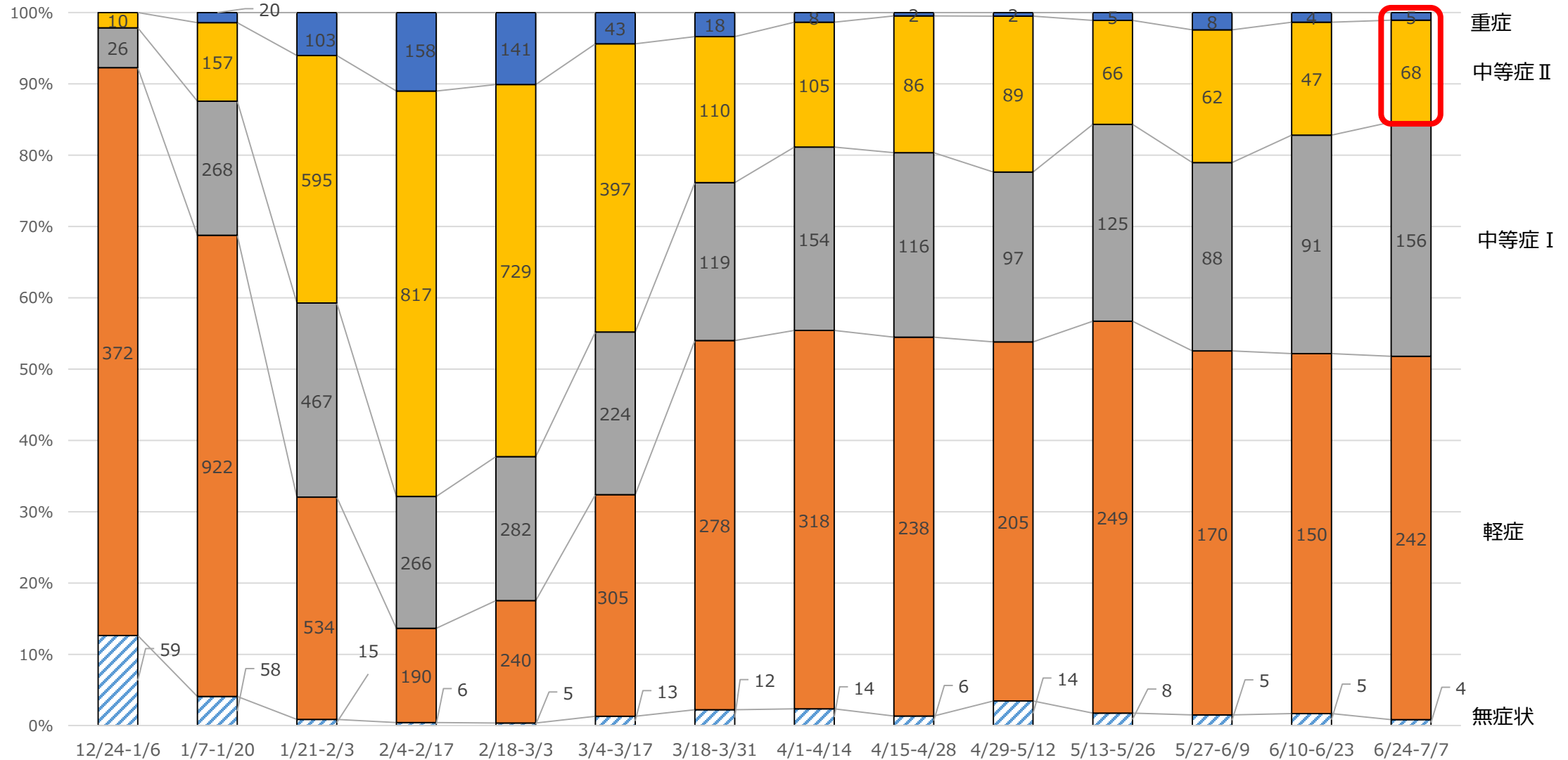
◆ 入院調整時の入院患者の直近2週間の年代割合は、70代以上が全体の約7割を占める。



※「大阪府療養者情報システム（O-CIS）」のデータに基づく。 ※年代不明の1件を除く

# 入院調整時の入院患者の症状（12月24日～7月7日）

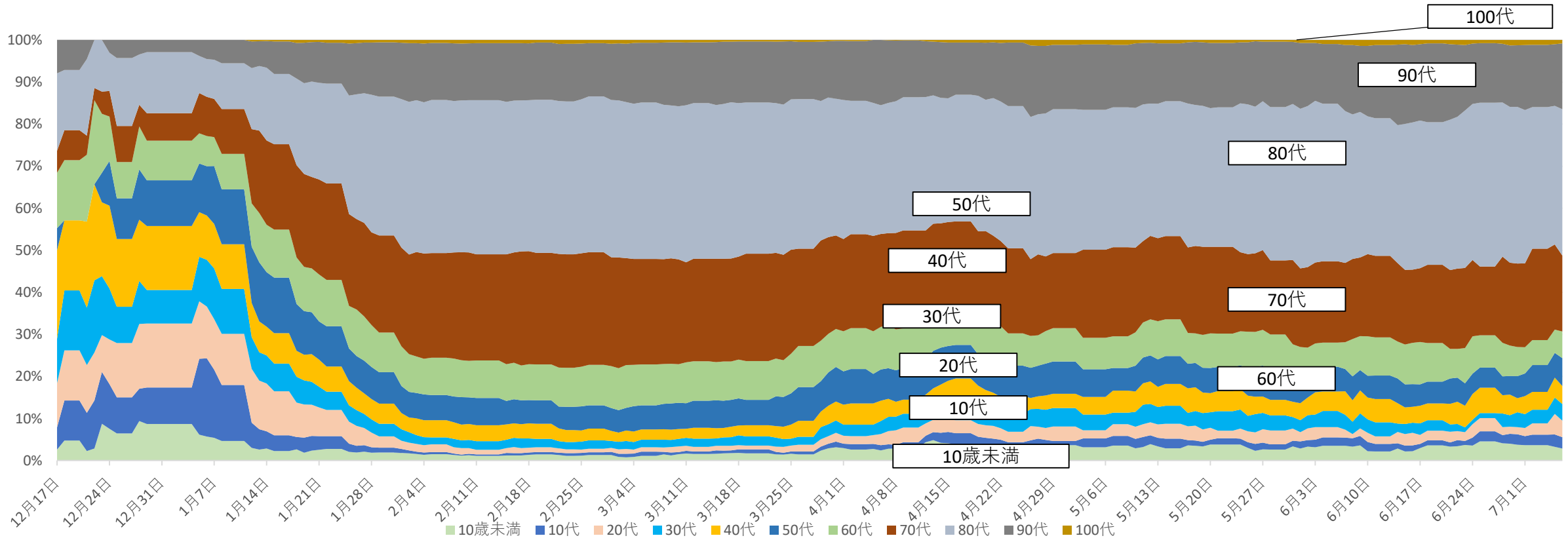
◆ 入院調整時の入院患者の直近2週間の症状は、中等症Ⅱ以上が全体の2割弱を占める。



※入院調整時の患者の症状であり、入院後に症状が変化している可能性がある。 ※「大阪府療養者情報システム（O-CIS）」のデータに基づく。 ※症状不明の13件を除く

# 軽症中等症受入医療機関における入院患者数の年代別割合（7月7日時点）

◆ 7月7日時点で、軽症中等症入院患者のうち、70代以上は7割弱を占める。



	第六波 (2/11)	第七波 (7/7)
60代未満	14.9%	24.4%
60代以上	85.1%	75.6%
(うち、70代以上)	(76.2%)	(69.3%)

※ 1月5日に患者の全員入院対応を見直し。1月7日に入院・宿泊療養対象を見直し

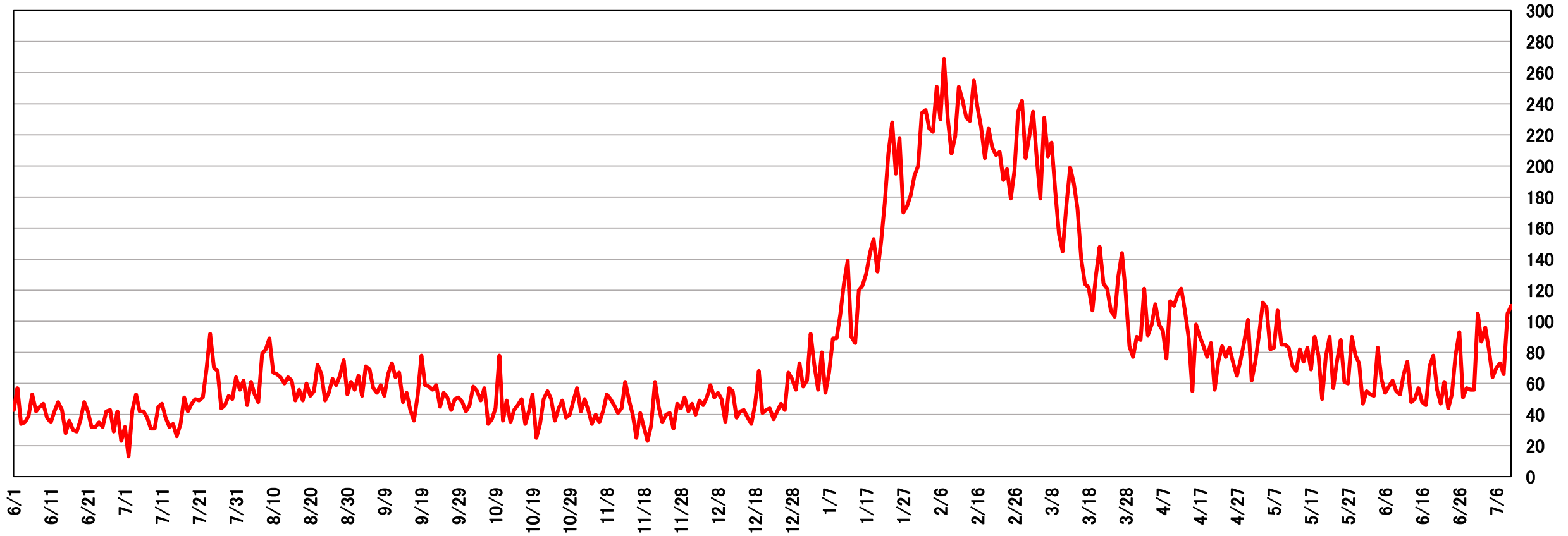
※第六波(2/11)は最低入院率かつ療養者数が最大となった日

# 一般救急患者の搬送困難事案件数

◆ 府内の救急搬送困難事案(※)の件数は、6月中下旬からやや増加傾向。

(※)「医療機関への受入照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案

大阪府（全圏域）における搬送困難事案件数（令和3年6月以降）



## 6 重症・死亡例のまとめ



# 年代別重症化率の推移（陽性判明日別）（令和4年7月3日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（令和3年4/6～7/12、令和4年2/16～4/12）や他府県で受け入れている重症者（令和3年4/22～5/10）を含む。

重症化率	第一波 (R2/1/29-6/13)			第二波 (R2/6/14-10/9)			第三波 (R2/10/10- R3/2/28)			第四波 (R3/3/1-6/20)			第五波 (R3/6/21-12/16)			第六波 (R3/12/17- R4/6/24)			第七波（7/3時点） (R4/6/25-)		
	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率
未就学児	19	0	0.0%	157	0	0.0%	689	1	0.1%	1256	1	0.1%	4858	0	0.0%	67580	10	0.01%	1272	0	0.00%
就学児	13	0	0.0%	61	0	0.0%	336	0	0.0%	742	0	0.0%	3121	0	0.0%	52642	3	0.01%	1182	0	0.00%
10代	47	1	2.1%	621	0	0.0%	2679	0	0.0%	4631	1	0.0%	14445	3	0.0%	129472	7	0.01%	2949	0	0.00%
20代	364	2	0.5%	2996	1	0.0%	7079	2	0.0%	12138	21	0.2%	27012	25	0.1%	133701	12	0.01%	2768	0	0.00%
30代	290	5	1.7%	1424	2	0.1%	4654	14	0.3%	7640	40	0.5%	17066	74	0.4%	122358	10	0.01%	2517	0	0.00%
40代	306	13	4.2%	1160	14	1.2%	4851	42	0.9%	8223	146	1.8%	15521	230	1.5%	118783	47	0.04%	2413	0	0.00%
50代	258	23	8.9%	1047	38	3.6%	4994	142	2.8%	7622	348	4.6%	10942	324	3.0%	75101	79	0.11%	1575	0	0.00%
60代	161	35	21.7%	628	49	7.8%	3393	246	7.3%	4582	420	9.2%	3690	181	4.9%	37402	122	0.33%	764	0	0.00%
70代	176	49	27.8%	580	79	13.6%	3657	451	12.3%	4378	564	12.9%	2221	120	5.4%	30454	339	1.11%	584	0	0.00%
80代	118	18	15.3%	449	46	10.2%	2797	224	8.0%	3021	200	6.6%	1494	61	4.1%	23231	227	0.98%	405	0	0.00%
90代	30	1	3.3%	145	3	2.1%	899	26	2.9%	923	16	1.7%	397	6	1.5%	8596	39	0.45%	146	0	0.00%
100代	4	0	0.0%	3	0	0.0%	36	0	0.0%	46	0	0.0%	19	0	0.0%	431	3	0.70%	8	0	0.00%
【再】 70代以上	328	68	20.7%	1177	128	10.9%	7389	701	9.5%	8368	780	9.3%	4131	187	4.5%	62712	608	0.97%	1143	0	0.00%
総計	1786	147	8.2%	9271	232	2.5%	36064	1148	3.2%	55318	1757	3.2%	100891	1024	1.0%	800936	898	0.11%	16594	0	0.00%

※重症化率：新規陽性者数に占める重症者の割合。

※重症化率は7月3日判明時点までの重症者数に基づく。今後、重症者数・新規陽性者数の推移により変動

# 年代別死亡率の推移（陽性判明日別）（令和4年7月3日時点）

死亡率	第一波 (R2/1/29-6/13)			第二波 (R2/6/14-10/9)			第三波 (R2/10/10- R3/2/28)			第四波 (R3/3/1-6/20)			第五波 (R3/6/21-12/16)			第六波 (R3/12/17- R4/6/24)			第七波（7/3時点） (R4/6/25-)		
	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率
未就学児	19	0	<b>0.0%</b>	157	0	<b>0.0%</b>	689	0	<b>0.0%</b>	1256	0	<b>0.0%</b>	4858	0	<b>0.0%</b>	67580	0	<b>0.00%</b>	1272	0	<b>0.00%</b>
就学児	13	0	<b>0.0%</b>	61	0	<b>0.0%</b>	336	0	<b>0.0%</b>	742	0	<b>0.0%</b>	3121	0	<b>0.0%</b>	52642	0	<b>0.00%</b>	1182	0	<b>0.00%</b>
10代	47	0	<b>0.0%</b>	621	0	<b>0.0%</b>	2679	0	<b>0.0%</b>	4631	0	<b>0.0%</b>	14445	1	<b>0.0%</b>	129472	1	<b>0.00%</b>	2949	0	<b>0.00%</b>
20代	364	0	<b>0.0%</b>	2996	0	<b>0.0%</b>	7079	0	<b>0.0%</b>	12138	1	<b>0.0%</b>	27012	0	<b>0.0%</b>	133701	0	<b>0.00%</b>	2768	0	<b>0.00%</b>
30代	290	0	<b>0.0%</b>	1424	0	<b>0.0%</b>	4654	1	<b>0.0%</b>	7640	6	<b>0.1%</b>	17066	4	<b>0.0%</b>	122358	0	<b>0.00%</b>	2517	0	<b>0.00%</b>
40代	306	3	<b>1.0%</b>	1160	0	<b>0.0%</b>	4851	3	<b>0.1%</b>	8223	19	<b>0.2%</b>	15521	19	<b>0.1%</b>	118783	16	<b>0.01%</b>	2413	0	<b>0.00%</b>
50代	258	3	<b>1.2%</b>	1047	4	<b>0.4%</b>	4994	14	<b>0.3%</b>	7622	69	<b>0.9%</b>	10942	44	<b>0.4%</b>	75101	41	<b>0.05%</b>	1575	0	<b>0.00%</b>
60代	161	9	<b>5.6%</b>	628	13	<b>2.1%</b>	3393	55	<b>1.6%</b>	4582	137	<b>3.0%</b>	3690	48	<b>1.3%</b>	37402	108	<b>0.29%</b>	764	1	<b>0.13%</b>
70代	176	29	<b>16.5%</b>	580	31	<b>5.3%</b>	3657	239	<b>6.5%</b>	4378	433	<b>9.9%</b>	2221	80	<b>3.6%</b>	30454	489	<b>1.61%</b>	584	1	<b>0.17%</b>
80代	118	31	<b>26.3%</b>	449	70	<b>15.6%</b>	2797	414	<b>14.8%</b>	3021	606	<b>20.1%</b>	1494	120	<b>8.0%</b>	23231	914	<b>3.93%</b>	405	1	<b>0.25%</b>
90代	30	10	<b>33.3%</b>	145	24	<b>16.6%</b>	899	202	<b>22.5%</b>	923	258	<b>28.0%</b>	397	38	<b>9.6%</b>	8596	539	<b>6.27%</b>	146	0	<b>0.00%</b>
100代	4	2	<b>50.0%</b>	3	0	<b>0.0%</b>	36	10	<b>27.8%</b>	46	11	<b>23.9%</b>	19	4	<b>21.1%</b>	431	35	<b>8.12%</b>	8	0	<b>0.00%</b>
【再】 70代以上	328	72	<b>22.0%</b>	1177	125	<b>10.6%</b>	7389	865	<b>11.7%</b>	8368	1308	<b>15.6%</b>	4131	242	<b>5.9%</b>	62712	1977	<b>3.15%</b>	1143	2	<b>0.17%</b>
総計	1786	87	<b>4.9%</b>	9271	142	<b>1.5%</b>	36064	938	<b>2.6%</b>	55318	1540	<b>2.8%</b>	100891	358	<b>0.4%</b>	800936	2143	<b>0.27%</b>	16594	3	<b>0.02%</b>

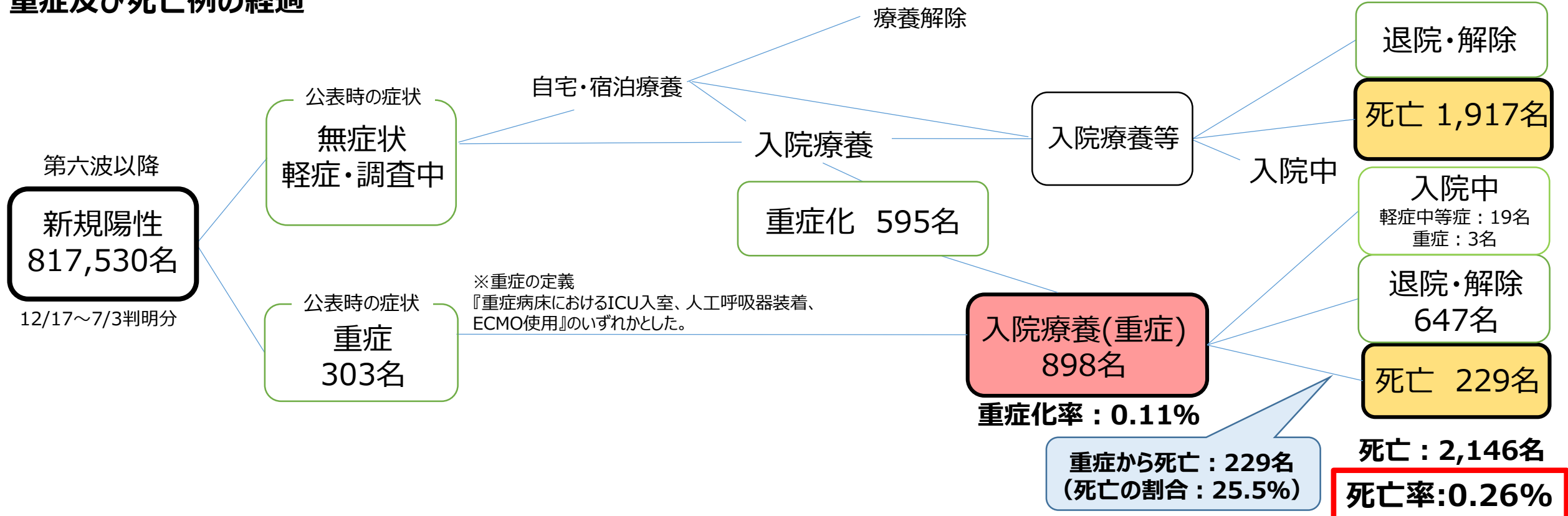
※死亡率：新規陽性者数に占める死亡者の割合。

※死亡率は7月3日判明時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

# 【第六波以降】重症及び死亡例のまとめ（令和4年7月3日判明時点）

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

## 重症及び死亡例の経過



※重症率及び死亡率は7月3日判明時点までの重症及び死亡者数に基づく。今後、重症及び死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

## 全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

2022/7/3判明時点

	累計 陽性者数	第一波	第二波	第三波	第四波	第五波	第六波	第七波	死亡者数 (死亡率)	第一波	第二波	第三波	第四波	第五波	第六波	第七波
		R2/ 6/13まで	6/14~ 10/9	10/10~ R3/2/28	3/1~ 6/20	6/21~ 12/16	12/17~ R4/6/24	6/25~ 7/3		R2/ 6/13まで	6/14~ 10/9	10/10~ R3/2/28	3/1~ 6/20	6/21~ 12/16	12/17~ R4/6/24	6/25~ 7/3
大阪府	1,020,860	1,786	9,271	36,064	55,318	100,891	800,936	16,594	5,211 ( 0.5% )	87 ( 4.9% )	142 ( 1.5% )	938 ( 2.6% )	1,540 ( 2.8% )	358 ( 0.4% )	2,143 ( 0.27% )	3 ( 0.02% )
全国	9,356,103	17,179	70,012	343,342	350,398	943,478	7,463,779	167,915	31,300 ( 0.3% )	925 ( 5.4% )	698 ( 1.0% )	6,262 ( 1.8% )	6,510 ( 1.9% )	3,973 ( 0.4% )	12,715 ( 0.17% )	217 ( 0.13% )

※チャーター機帰国者、クルーズ船乗客、空港検疫は含まれていない。全国は厚生労働省公表資料（7/3の国内の発生状況）より集計。

# 【第四波以降】重症者のまとめ（令和4年7月3日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（令和3年4/6～7/12、令和4年2/16～4/12）や他府県で受け入れている重症者（令和3年4/22～5/10）を含む。

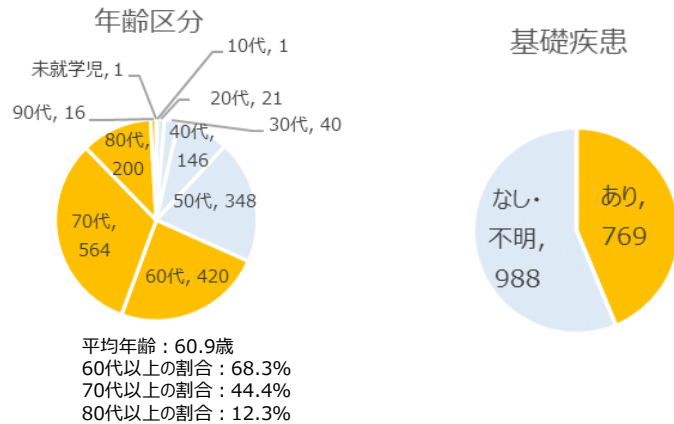
## 第四波（2021/3/1～6/20）

新規陽性者数	55,318
(再掲)40代以上(割合)	28,795(52.1%)
(再掲)60代以上(割合)	12,950(23.4%)
重症者数（※）	1,757
死亡	400
退院・解除	1,357
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が23例あり

### ■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.9%(1,694/28,795)  
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：9.3%(1,200/12,950)  
 全陽性者数に占める重症者の割合：3.2%(1,757/55,318)



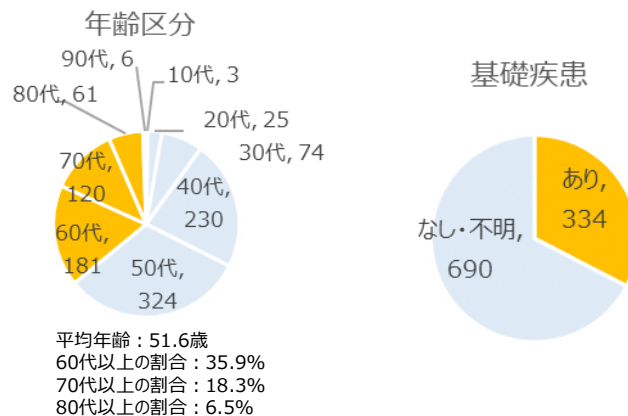
## 第五波（2021/6/21～12/16）

新規陽性者数	100,891
(再掲)40代以上(割合)	34,284(34.0%)
(再掲)60代以上(割合)	7,821(7.8%)
重症者数	1,024
死亡	142
退院・解除	882
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が5例あり

### ■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：2.7%(922/34,284)  
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：4.7%(368/7,821)  
 全陽性者数に占める重症者の割合：1.0%(1,024/100,891)



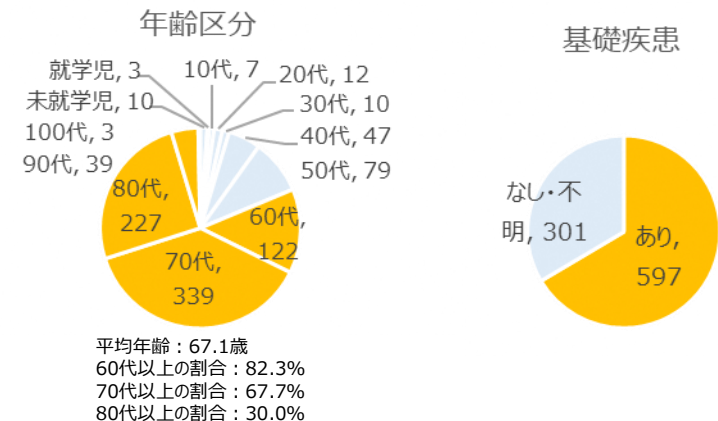
## 第六波以降（2021/12/17以降）

新規陽性者数	817,530
(再掲)40代以上(割合)	299,893(36.7%)
(再掲)60代以上(割合)	102,021(12.5%)
重症者数	898
死亡	229
退院・解除	647
入院中（軽症）	19
入院中（重症）	3

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が22例あり

### ■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：0.3%(856/299,893)  
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：0.7%(730/102,021)  
 全陽性者数に占める重症者の割合：0.11%(898/817,530)



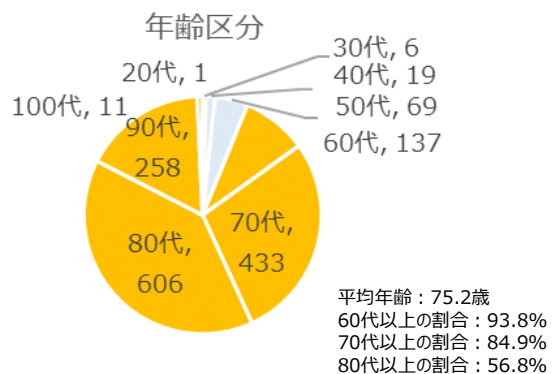
※重症率は7月3日判明時点までの重症者数に基づく。今後、重症者数・新規陽性者数の推移により変動

## 第四波（2021/3/1～6/20）

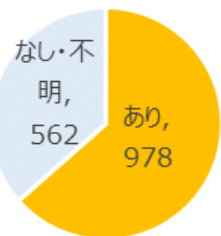
新規陽性者数	55,318
(再掲)40代以上(割合)	28,795(52.1%)
(再掲)60代以上(割合)	12,950(23.4%)
死亡者数	1,540

### ■死亡例の割合

40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：5.3%(1,533/28,795)  
 60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：11.2%(1,445/12,950)  
 全陽性者数に占める死亡例の割合：2.8%(1,540/55,318)



### 基礎疾患

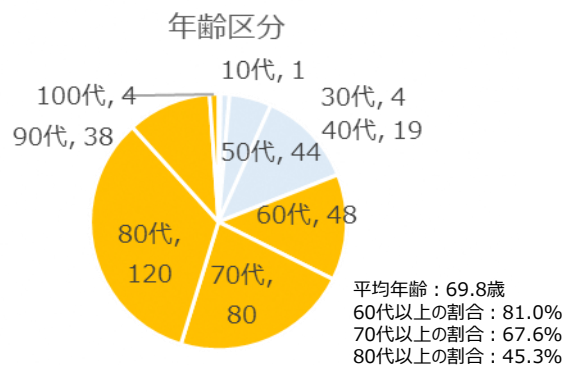


## 第五波（2021/6/21～12/16）

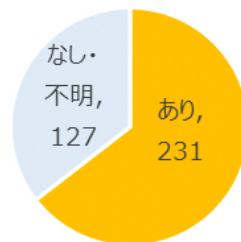
新規陽性者数	100,891
(再掲)40代以上(割合)	34,284(34.0%)
(再掲)60代以上(割合)	7,821(7.8%)
死亡者数	358

### ■死亡例の割合

40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：1.0%(353/34,284)  
 60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：3.7%(290/7,821)  
 全陽性者数に占める死亡例の割合：0.4%(358/100,891)



### 基礎疾患

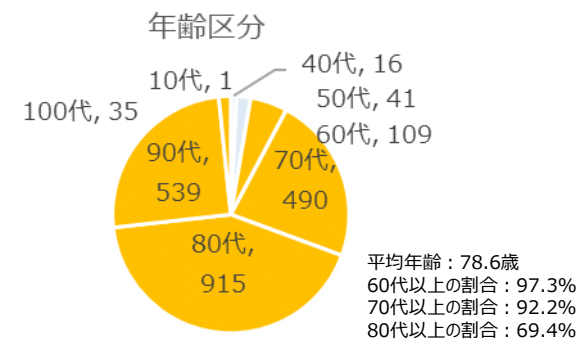


## 第六波以降（2021/12/17以降）

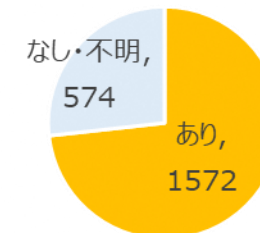
新規陽性者数	817,530
(再掲)40代以上(割合)	299,893(36.7%)
(再掲)60代以上(割合)	102,021(12.5%)
死亡者数	2,146

### ■死亡例の割合

40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：0.7%(2,145/299,893)  
 60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：2.0%(2,088/102,021)  
 全陽性者数に占める死亡例の割合：0.26%(2,146/817,530)



### 基礎疾患



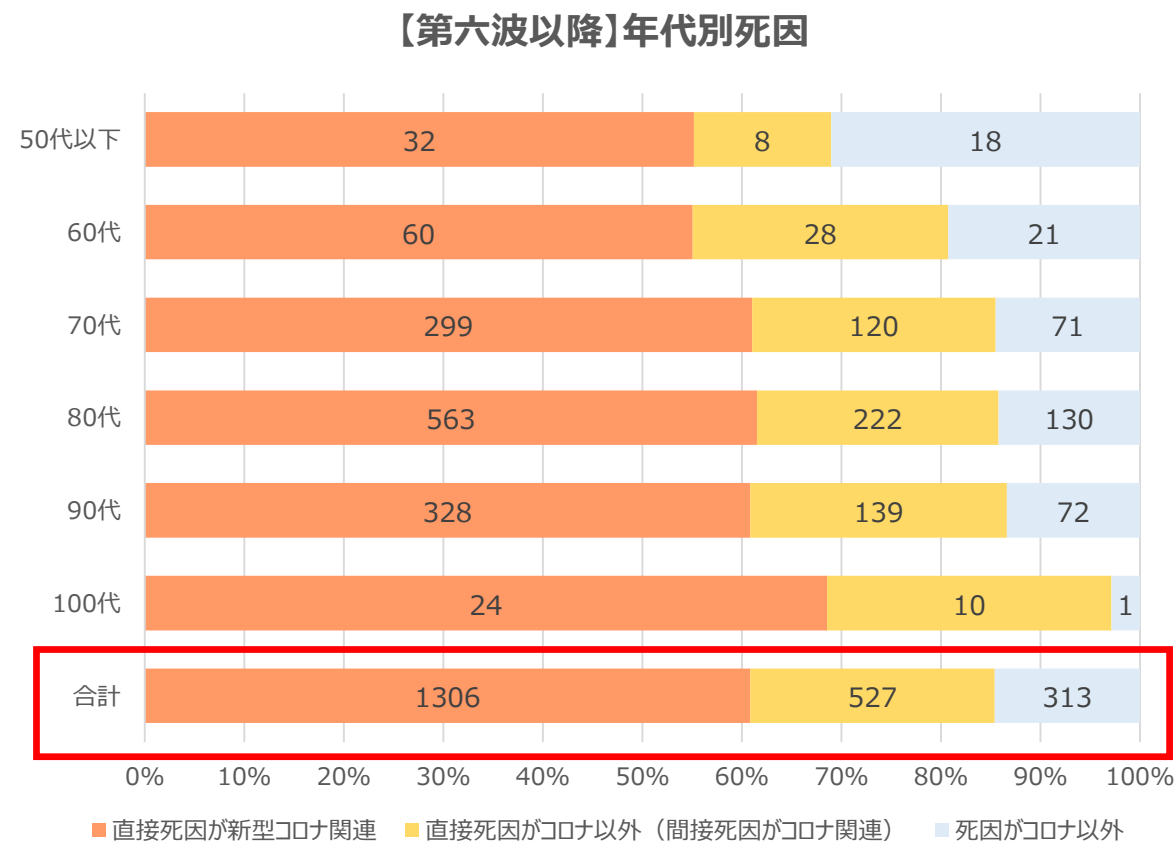
※死亡率は7月3日判明時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

# 【第六波以降】死亡例の死因（令和4年7月3日判明時点）

- ◆ 直接死因としては、新型コロナ関連が1306例（死亡例のうち約6割）。  
 コロナ以外が840例（うち、527例は間接死因がコロナ関連、313例は間接死因がコロナ以外）

	死亡者数	【公表内容】 新型コロナ関連死亡	直接死因			
			新型コロナ関連	コロナ以外 ※1	間接死因	
					間接死因が コロナ関連	間接死因が コロナ以外
10代	1	0	0	1	0	1
40代	16	11	8	8	3	5
50代	41	29	24	17	5	12
60代	109	88	60	49	28	21
70代	490	419	299	191	120	71
80代	915	785	563	352	222	130
90代	539	467	328	211	139	72
100代	35	34	24	11	10	1
合計	2146	1833	1306	840	527	313
【再】70代以上	1979	1705	1214	765	491	274

※1：【主な死因の一例】誤嚥性肺炎、老衰、心不全等



# 7 感染状況を踏まえた対応

## 第七波に向けた取組方針について

- ◆ 現在、新規陽性者数が4,000人を大きく上回った状態が続いており、感染が拡大  
今後、第六波を上回る感染規模となる可能性と、オミクロン株の特性を踏まえ、以下方針に基づき、取組みを推進

### 【方針】

- 診療・検査医療機関の拡充と、陽性者に対する保健所を介さない健康観察・早期治療の推進
- 保健所業務の重点化と効率化
- 患者受入医療機関における更なる病床確保と、確保病床を有しない病院を含めた自院治療の継続と支援体制の構築
- 大阪府療養者情報システム(O-CIS)等を活用し、圏域単位、病病・病診連携を含めた入院調整と転退院の促進
- 宿泊療養体制の強化(診療型宿泊療養施設・高齢者用臨時医療施設の運営等)
- ハイリスク者と高齢者施設に対する医療・療養体制の強化
  - ・ 入所系・居住系高齢者施設従事者等に対する定期検査
  - ・ 高齢者施設等の入所者に対するワクチン4回目接種の推進
  - ・ 高齢者施設等における施設内療養時の医療体制の強化  
(協力医療機関等による早期治療・往診協力医療機関や高齢者施設等クラスター対応強化チームによる支援等) など

### 【第七波に向けたこれまでの取組方針】

- 令和4年3月22日に「第七波に向けた保健所業務の重点化・医療療養体制の強化方針と取組」を策定。以下方針に基づき、取組みを推進。

#### 「強化方針」

- 方針1 陽性者に対する、保健所を介さない健康観察・初期治療体制の確保と、保健所業務のさらなる効率化
- 方針2 高齢者施設に対する往診・支援体制の確保と、高齢者の療養フロー(かかりつけ医⇒入院⇒転退院)の確立・徹底
- 方針3 確保病床を有しない病院も含めた“オール医療”の体制構築
- 方針4 圏域単位・病病連携・病診連携に軸足を置いた入院調整
- 方針5 転退院の促進

- 上記に加え、令和4年5月16日に、第六波を上回る感染拡大に対応できるよう、以下の観点を踏まえ、医療療養体制強化の取組みを公表。

- 取組み① 診療・検査医療機関の充実
- 取組み② 急増が見込まれる自宅療養者への治療体制の充実
- 取組み③ 病床確保等医療提供体制の整備
- 取組み④ 要介護高齢者の入院・療養体制の更なる整備(ケア提供体制の充実に向けた支援等)や、高齢者施設等における医療支援の更なる強化



# 第七波に向けた取組方針に基づく主な取組み

主な取組み		取組実績等
検査体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○診療・検査医療機関の指定数の増加（目標数：3,100か所） 日曜・祝日における診療・検査体制の確保（支援金制度創設）</li> <li>○無料検査（当面の間）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指定数<sup>(R4.7.5)</sup> 2,650施設（3/1から+552）（病院341、診療所2,309）</li> <li>●日曜・祝日開設医療機関数<sup>(R4.7.10)</sup> 184施設（6/14から+87）（病院44施設、診療所140施設）</li> </ul>
保健所体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健所業務の重点化・効率化 （ハイリスク者への早期対応の徹底や陽性者の早期把握、高齢者施設等への対応徹底等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務重点化の継続</li> <li>●医療機関によるHER-SYS入力の促進</li> <li>●事務処理センター設置、配食・パルスセンターでの手続きワンストップ化等</li> </ul>
医療・療養体制	<b>病床確保医療機関での備え</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>【患者受入医療機関】 ○軽症中等症病床「緊急避難的確保病床」の確保を要請（1,500床程度を目標） ○「高齢者リハビリ・ケア（専門職配置）病床」の確保を要請</li> <li>【確保病床を有しない病院】 ○自院での治療継続の働きかけと地域の感染対策ネットワークの強化推進 ○感染制御や治療等にかかる対応確認・自主訓練の実施を依頼</li> <li>【共通】 ○自院患者コロナ陽性病床の備えについて依頼</li> </ul>	<b>【患者受入医療機関】</b> <sup>(R4.7.6)</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>●軽症中等症確保病床数（見込み含む）4,065床 （5/27要請前から+669床）</li> <li>●高齢者リハビリ・ケア病床（見込み含む）779床 （軽症中等症病床4,065床の内数）</li> </ul> <b>【確保病床を有しない病院】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保健所圏域ごとに感染対策支援体制構築に向け取組中</li> </ul>
	<b>宿泊・自宅療養体制</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>【宿泊療養】 ○災害級非常事態に備えた部屋数の充実 ○診療型宿泊施設や臨時医療施設（スマイル、高齢者医療介護臨時センター・ほうせんか）の運営</li> <li>【自宅療養】 ○健康観察・初期治療を行う診療・検査医療機関の拡充、HER-SYS入力の推進 ○外来・往診による初期治療や訪問看護師による健康観察の実施 ○自宅療養者がアクセスできる外来等医療機関の充実や無料搬送体制の確保</li> </ul>	<b>【宿泊療養】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●宿泊居室約1万室の確保</li> <li>●診療型宿泊施設・臨時医療施設 11施設<sup>(R4.7.8)</sup></li> </ul> <b>【自宅療養】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健康観察等を行う医療機関数 1,326医療機関<sup>(R4.7.3)</sup></li> <li>●医療機関のHER-SYS入力 72.2%<sup>(R4.7.3)</sup></li> <li>●診療・検査医療機関のうち自宅療養者等への診療を行う医療機関 ①コロナ診療実施医療機関 641 ②抗体治療医療機関（外来）208 ③往診医療機関 174 ④オンライン診療機関235 ⑤経口治療薬の処方 447（6/14 2,495医療機関中）</li> <li>●自宅待機SOSの周知強化（折込チラシ等）</li> </ul>
	<b>高齢者施設対応</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○入所系・居住系高齢者施設の従事者等に対する定期検査（3日に1回）</li> <li>○コロナ治療に対応する協力医療機関の確保促進</li> <li>○新型コロナウイルス感染症発生時対応訓練の実施</li> <li>○ワクチン4回目接種の実施（府巡回接種チームの創設・接種券の代行手配・接種の進捗管理に係る市町村への支援）</li> <li>○往診協力医療機関、重点往診チームの派遣による重症化予防治療促進</li> <li>○往診専用ダイヤル設置・「OCRT」の設置・派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期検査の実施 実施状況対象施設の約4割</li> <li>●コロナ治療対応協力医療機関確保状況 68.1%<sup>(R4.7.8)</sup></li> <li>●訓練の実施状況 89.4%<sup>(R4.7.8)</sup></li> <li>●巡回接種実施（予約）施設 7施設（185人）<sup>(R4.7.8)</sup> 接種券発行依頼件数 24施設 延べ70市町村<sup>(R4.7.8)</sup></li> <li>●往診協力医療機関 139医療機関<sup>(R4.7.8)</sup></li> <li>●OCRT往診支援件数6件、感染対策助言117件<sup>(R4.2.18-7.9)</sup></li> </ul>

# 今夏の感染拡大に向けた高齢者施設等管理者、医療機関への通知

## ◆今夏の感染拡大に向けた対応について、高齢者施設等、医療機関に通知を发出（发出日 R4.7.7）

发出先(发出者)	通知名	通知項目・概要
高齢者施設等管理者 (福祉部長・健康医療部長)	新型コロナウイルス感染症・オミクロン株 の特性を踏まえた施設等における対応 について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 入所系・居住系の従事者等に対する抗原定性検査キットを活用した定期検査（1回／3日）の実施</li> <li>2 感染者発生時の訓練実施</li> <li>3 ワクチン4回目接種の実施</li> <li>4 協力医療機関等との連携によるコロナ治療の実施（早期治療、往診専用ホットライン、OCRT専用ダイヤル活用）</li> <li>5 入院・療養の考え方に対する理解・協力</li> </ol> ⇒・中等症以上又は原則65歳以上の高齢者及び重症化リスクがあり発熱が続くなど中等症への移行が懸念される方（外来等で初期治療等が可能な患者を除く）が入院対象 ・軽症の場合は可能な限り施設内での療養を基本 ・症状や施設の状況を勘案して医療需要の高い方から優先的に入院調整を実施
新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関 (健康医療部長)	今夏の感染拡大に向けた対応について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 緊急避難的確保病床の確保等</li> <li>2 受入病床のフェーズ3（軽症中等症病床）への移行（7月11日（月）～）にかかる体制確保</li> <li>3 府における入院・療養の考え方の順守</li> </ol> ⇒・入院FCを介さず入院調整を行う場合、「府における入院・療養の考え方（目安）」を順守 ・退院基準を満たす場合は可能な限り転退院促進 4 大阪府療養者情報システム（O-CIS）へのデータ入力をお願い
【非受入医療機関】 新型コロナウイルス感染症患者等受入れにかかる確保病床を有しない病院 (健康医療部長)	今夏の感染拡大に向けた対応について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自院患者が陽性となった場合の対応の徹底</li> </ol> ⇒・中等症 I 患者までのコロナ治療の継続を要請 ・院内感染防止対策の徹底、患者発生時の早期治療実施を含めた対応の確認
【往診協力医療機関】 自宅往診協力医療機関 高齢者施設等往診協力医療機関 (健康医療部長)	今夏の感染拡大に向けた対応について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自宅療養者に対する往診の協力（適切な医療の提供、協力金制度の周知）</li> <li>2 高齢者施設等に対する往診の協力（クラスター発生時の重症化予防等適切な医療の提供、協力金制度の周知）</li> <li>3 入院・療養の考え方に対する理解・協力（中等症以上等を原則入院対象とすること等の再周知と順守）</li> </ol>
【後方支援病院】 退院基準到達患者受入れ可能医療機関 (健康医療部長)	今夏の感染拡大に向けた対応について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 府転退院サポートCやコロナ受入医療機関から退院基準を満たした患者の積極的受入れ</li> </ol>

※医師会、医療関係団体に対して上記通知に対する協力依頼通知の发出

# 診療・検査医療機関の拡充について

## 診療・検査医療機関の指定状況

<整備目標> 3,100施設 ※第6波の2倍の陽性者を想定(新型コロナウイルス感染症大阪府検査体制整備計画【改訂第3版】より)

【令和4年3月1日時点】

	指定数	A型	B型
病院	267施設	168施設	99施設
診療所	1,831施設	737施設	1,094施設
計	2,098施設	905施設	1,193施設

+552施設



【令和4年7月5日時点】

	指定数	A型	B型
病院	341施設	181施設	160施設
診療所	2,309施設	996施設	1,313施設
計	2,650施設	1,177施設	1,473施設

※A型:かかりつけ患者以外も受入可、B型:かかりつけ患者のみ受入れ

## 指定数増加に向けた取組みの効果

- ▶ 診療・検査医療機関の指定数増加に向け、医療機関に対する直接の依頼文の発出及び個別の架電により勧奨を実施。
  - ①検査を実施(行政検査委託契約締結)している医療機関<R4.3月～実施>
  - ②検査を実施していない医療機関のうち、内科系(内科、呼吸器科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科)<R4.5月下旬～実施>

	対象施設数	勧奨後指定	うちA型	うちB型	指定を受けない施設が示す理由
①	1,146施設	281施設 (24.5%)	87施設	194施設	医療機関の体制(人員・構造)、ホームページへの公表による患者増の懸念
②	2,764施設	159施設 (5.8%)	47施設	112施設	医療機関の体制(人員・構造)、かかりつけ来院患者の属性(高齢者・透析等)、従事するスタッフの反対等

※府内の医療施設の総数は9,259施設(うち病院509施設、診療所8,750施設)※厚生労働省 医療施設動態調査(R4.4月末時点概数)

## 日曜・祝日における体制強化

- ▶ 診療・検査医療機関のうち、日曜・祝日に開設する医療機関が少ないことから、府民の円滑な受診に向け以下の取組みを実施。(6/19～)
  - ・日曜・祝日に開設する診療・検査医療機関のリストをホームページ上で公表(検索を容易に)
  - ・リストに掲載した医療機関には、診療区分(A型、B型)と開設時間に応じて支援金を支給

### <支援金の概要>

基本額/日 :A型 5万円、B型 2.5万円  
 加算額/30分:A型 1万円、B型 0.5万円  
 上限額/日 :A型 13万円、B型 6.5万円

【制度開始前】(6/14時点)

97施設  
(病院10施設、診療所87施設)



【7月10日(日)リスト掲載】

184施設  
(病院44施設、診療所140施設)

# 現在の軽症中等症病床の確保状況について

(令和4年7月6日現在、申請書ベース)

## 軽症中等症病床 確保状況

### 軽症中等症病床 フェーズ5

(緊急避難的確保病床含む)

【206機関】

5/27要請前確保病床数	確保病床数 (見込み含む)
3,396床	4,065床 (+669床)

内  
訳

● 許可病床数(一般)に占める軽症中等症の確保病床数の割合が約10%以上の医療機関

【75機関】

1,686床	1,784床 (+98床)
--------	---------------

● 上記割合が約10%未満だったが、増床していただき、約10%以上確保いただいている医療機関

【42機関】

695床	1,042床 (+347床)
------	----------------

● 上記の割合が約10%未満の病院

【89機関】

・うち、増床あり 【38機関】

556床	774床 (+218床)
------	--------------

・うち、増床なし 【51機関】

459床	465床 (+6床※)
------	-------------

※重症病床→軽症中等症病床への振替による増

## 高齢者リハビリ・ケア (専門職配置) 病床 確保状況

### 高齢者リハビリ・ケア (専門職配置) 病床 フェーズ5

【52機関】

確保病床数 (見込み含む)
779床

(軽症中等症病床4,065床の内数)

# 第七波に向けた府における入院・療養の考え方

## 府における入院・療養の考え方 (オミクロン株の特性を踏まえた対応)

大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会(書面開催)で同意(令和4年6月16日)  
(今後の状況に応じて随時運用を見直すこととする)

### 【入院】

- ・**中等症以上または原則65歳以上で発熱が続くなど中等症への移行が懸念される患者等。**(外来等で初期治療や経過観察が可能な患者を除く)  
コロナ治療を終え、症状が安定した患者は宿泊療養への切り替えや高齢者施設等での療養を検討。

【入院対象】(下記に該当しない患者でも、保健所や入院フォローアップセンターが、患者を診察した医師の意見を踏まえ判断した患者は入院の対象)  
原則65歳以上で発熱が続くなど中等症への移行が懸念される患者、SpO2が96%未満または息切れや肺炎所見のある患者、重症化リスクのある患者(BMI30以上や基礎疾患等)で発熱が続くなど中等症への移行が懸念される患者、その他中等度以上の基礎疾患等または合併症によって入院を必要とする患者

### 【宿泊療養】

- ・**入院を要しない患者は原則宿泊療養の対象。患者の介護度等に応じ、診療型宿泊療養施設、臨時の医療施設で優先的に受入れ。**

#### 【宿泊療養優先対象】

- ・重症化リスクのある患者(BMI25以上や基礎疾患等)、自宅において適切な感染管理対策が取れない患者(同居家族に高齢者、免疫不全等の要配慮者、医療・介護従事者がいる場合)、ADLが自立しており、集団生活のルールが遵守できる患者

#### 【診療型宿泊療養施設優先対象】中和抗体治療等の対象となる患者、重症化リスクのある患者

- 【臨時の医療施設優先対象】リハビリや中等度以上の介護的ケアが必要な患者、歩行介助など一定の生活介助が必要な患者(要介護度に応じて)

## オミクロン株の特性を踏まえた高齢者施設等での対応の考え方 (施設内での療養部分)

- ・**施設内で陽性者が発生した場合、早期の重症化予防治療と、軽症の場合は可能な限り施設内での療養を基本とする。**  
症状や施設の状況※を勘案して医療需要の高い方から優先的に入院調整(入院の対象は上記考え方と同じ・対象に該当しても、病床のひっ迫状況などによりやむを得ず施設内療養を行う場合あり) ※施設の状況:施設形態、常勤医師等の配置状況、法人内での支援の有無など

#### 【施設内での療養】

- ・協力医療機関や往診医等(施設往診)が初期治療を実施することで重症化を予防、軽症の場合は可能な限り施設内での療養を継続
- ・施設内療養を行う場合は、保健所や府・市町村による支援とともに、地域のネットワークによる支援を実施。  
(ICT(感染対策チーム)等による感染対策の指導や、往診医療機関等による抗体療法・経口治療薬投与など)

# 【参考】新型コロナウイルス感染症にかかる大阪府の医療・療養体制全体像

